

Pioneer

DJミキサー

DJM-T1

このたびは、パイオニア製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。

本機には、以下の3種類の説明書が付属されています。

DJM-T1 取扱説明書(本書)

TRAKTOR 2 Application Reference(付属DVD-ROM PDFファイル)

TRAKTOR 2 Getting Started(付属DVD-ROM PDFファイル)

製品の性能を十分に発揮させて効果的にご利用いただくために、本書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

TRAKTOR 2 Application ReferenceおよびTRAKTOR 2 Getting Startedは、TRAKTOR 2をインストール後にTRAKTOR 2のヘルプメニューからご覧いただけます。

これらの説明書は、「保証書」、「サービス窓口のご案内」と一緒に保管してください。

ご相談窓口・修理窓口のご案内

お取り扱いにお困りのとき、本書の巻末をご覧ください。

<http://www.prodjnet.com/support/>

上記の弊社ホームページでは、困ったときのよくある質問やソフトウェアの情報など、より快適に製品をお使いいただくための各種情報やサービスを提供しております。

取扱説明書

もくじ

本書の見かた

- 本書では、製品本体に表示されているチャンネル名、ボタン名、およびソフトウェア上のメニュー名などを、[] で囲んで記載しています。(例：[MASTER] チャンネル、[ON/OFF]、[ファイル] メニュー)
- コンピュータで操作する機能や手順の説明文には [**TRAKTOR**] を添えて記載しています。

01 安全上のご注意

警告	3
注意	3
設置場所について	4
製品のお手入れについて	4

02 はじめに

本機の特長	5
付属品を確認する	5

03 クイックスタートガイド

手順の流れ	6
TRAKTOR 2 ソフトウェアをインストールする	6
TRAKTOR 2 を起動する	7
セットアップウィザードを使って初期設定する	8
製品アクティベーションを行う	8
ドライバソフトウェアをインストールする	10
入力 / 出力端子に接続する	11
本機を設定する	12
設定ユーティリティの設定を変更する	12
トラックを再生する	12

04 操作する

ブラウザセクション	14
トランスポートセクション	15
ミキサーセクション	17
エフェクトセクション	19
ホットキュー / サンプラーセクション	21
グローバルセクション	23
マイク / AUX セクション	23
MIDI セクション	23
SHIFT セクション	24

05 設定を変更する

TRAKTOR 2 の環境設定を変更する	25
設定ユーティリティの設定を変更する	25
本機の設定を変更する	27

06 MIDI アサインマップ

MIDI アサインマップ	28
--------------------	----

07 その他

故障かな? と思ったら	30
ブロックダイヤグラム	31
保証とアフターサービス	32
商標および登録商標について	32
著作権についてのご注意	32
仕様	32

安全上のご注意

- ・安全にお使いいただくために、必ずお守りください。
- ・ご使用の前にこの「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

この取扱説明書および製品には、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の方々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が損害を負う可能性が想定される内容、および物の損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例



△記号は注意（警告を含む）しなければならない内容であることを示しています。図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。



○記号は禁止（やってはいけないこと）を示しています。図の中に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



●記号は行動を強制したり指示する内容を示しています。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜く）が描かれています。



警告

異常時の処置



万一煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると火災・感電の原因となります。すぐに機器本体の電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対おやめください。



万一内部に水や異物等が入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



万一本機を落としたり、カバーを破損した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

設置



接地接続は必ず、主電源プラグを主電源につなぐ前に行ってください。また、接地接続を外す場合は、必ず主電源プラグを主電源から切り離してから行ってください。



電源プラグの刃および刃の付近にほこりや金属物が付着している場合は、電源プラグを抜いてから乾いた布で取り除いてください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



電源コードの上に重い物を載せたり、コードが本機の下敷きにならないようにしてください。また、電源コードが引っ張られないようにしてください。コードが傷ついて、火災・感電の原因となります。コードの上を敷物などで覆うことにより、それに気が付かず、重い物を載せてしまうことがあります。



放熱をよくするため他の機器、壁等から間隔をとり、ラックなどに入れるときはすき間をあけてください。また、次のような使い方で通風孔をふさがないでください。内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。



- ・あおむけや横倒し、逆さまにする。
- ・押し入れなど、風通しの悪い狭いところに押し込む。
- ・じゅうたんやふとんの上に置く。
- ・テーブルクロスなどをかける。



着脱式の電源コード（インレットタイプ）が付属している場合のご注意：付属の電源コードはこの機器のみで使用することを目的とした専用品です。他の電気製品ではご使用になれません。他の電気製品で使用した場合、発熱により火災・感電の原因となることがあります。また電源コードは本製品に付属のもの以外は使用しないでください。他の電源コードを使用した場合、この機器の本来の性能が出ないことや、電流容量不足による発熱により火災・感電の原因となることがあります。

使用環境



本機に水が入ったり、ぬらさないようにご注意ください。火災・感電の原因となります。雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。



風呂場、シャワー室等では使用しないでください。火災・感電の原因となります。



表示された電源電圧（交流 100 ボルト、50 Hz/60 Hz）以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因となります。



本機を使用できるのは日本国内のみです。船舶などの直流（DC）電源には接続しないでください。火災の原因となります。



本機の使用環境温度範囲は 5℃～35℃、使用環境湿度は 85 % 以下（通風孔が妨げられていないこと）です。風通しの悪い所や湿度が高すぎる場所、直射日光（または人工の強い光）の当たる場所に設置しないでください。

使用方法



本機の上に花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器または小さな金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。



ぬれた手で（電源）プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。



本機の通風孔などから、内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。特にお客様のいるご家庭ではご注意ください。



本機のカバーを外したり、改造したりしないでください。内部には電圧の高い部分があり、火災・感電の原因となります。内部の点検・整備・修理は販売店にご依頼ください。



電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。コードが破損して火災・感電の原因となります。コードが傷んだら（芯線の露出、断線など）、販売店に交換をご依頼ください。



雷が鳴り出したらアンテナ線や電源プラグには触れないでください。感電の原因となります。



注意

設置



本機を設置する場合には、壁から 5 cm 以上の間隔をおいてください。また、放熱をよくするために、他の機器との間は少し離して設置してください。ラックなどに入れるときは、本機の背面から 5 cm 以上、側面から 3 cm 以上のすき間をあけてください。内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。



電源プラグは、コンセントに根元まで確実に差し込んでください。差し込みが不完全ですと発熱したり、ほこりが付着して火災の原因となることがあります。また、電源プラグの刃に触れると感電することがあります。



電源プラグは、根元まで差し込んでみがあるコンセントに接続しないでください。発熱して火災の原因となることがあります。販売店や電気工事にコンセントの交換を依頼してください。



ぐらついた台の上や傾いたところなど不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。



本機を調理台や加湿器のそばなど油煙、湿気あるいはほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。



テレビ、オーディオ機器、スピーカー等に機器を接続する場合は、それぞれの機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続してください。また、接続は指定のコードを使用してください。



電源プラグを抜く時は、電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。



電源コードを熱器具に近づけないでください。コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。



移動させる場合は、電源スイッチを切り必ず電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続コードを外してから、行ってください。コードが傷つき火災・感電の原因となることがあります。



窓を閉め切った自動車の中や直射日光が当たる場所など、異常に温度が高くなる場所に放置しないでください。火災の原因となることがあります。



本機の上に火がついたろうそくなどの裸火を置かないでください。火災の原因となります。

設置場所について

- ・熱を発生するアンプなどの上に直接置いたり、スポットライトなどの近くで長時間使用すると、本体に悪い影響を与えますので、おやめください。
- ・チューナーやテレビから離して設置してください。近くに置いた場合は、雑音や映像の乱れが生じることがあります。なお、雑音や映像の乱れは室内アンテナをご使用の場合に起こりやすく、このようなときは、屋外アンテナを使用するか、本機の電源を切ってください。

製品のお手入れについて

通常は、柔らかい布でから拭きしてください。汚れがひどい場合は水で5～6倍に薄めた中性洗剤に柔らかい布を浸してよく絞ったあと、汚れを拭き取り、そのあと乾いた布で拭いてください。アルコール、シンナー、ベンジン、殺虫剤などが付着すると印刷、塗装などがはげることがありますのでご注意ください。また、ゴムやビニール製品を長時間触れさせると、キャビネットを傷めますので避けてください。化学ぞうきんなどをお使いの場合は、化学ぞうきんなどに添付の注意事項をよくお読みください。

お手入れの際は、電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

使用方法



ディスクを使用する機器の場合、ひび割れ、変形、または接着剤などで補修したディスクは使用しないでください。ディスクは機器内で高速回転しますので、飛び散ってけがの原因となることがあります。



長時間音が歪んだ状態で使わないでください。スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。



本機に乗ったり、ぶら下がったりしないでください。特にお子様はご注意ください。倒れたり、壊れたりしてけがの原因になることがあります。



電源を入れる前には音量を最小にしてください。突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。



ヘッドホンをご使用になる時は、音量を上げすぎないようにご注意ください。耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。



旅行などで長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

保守・点検



5年に一度くらいは内部の掃除を販売店などにご相談ください。内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に湿気の多くなる梅雨期の前に行うとより効果的です。なお、掃除費用については販売店などにご相談ください。



お手入れの際は安全のために電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

音のエチケット



楽しい音楽も時と場所によっては気になるものです。隣近所への思いやりを十分にいたしましょう。ステレオの音量はあなたの心がけ次第で大きくも小さくもなります。特に静かな夜間には小さな音でも通りやすいものです。夜間の音楽鑑賞にはとくに気を配りましょう。近所へ音が漏れないように窓を閉めたり、ヘッドホンで聞くのも一つの方法です。お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

K021_A1_Ja

愛情点検



長年ご使用のAV機器の点検を！

このような症状はありませんか

- ・電源コードや電源プラグが異常に熱くなる。
- ・電源コードにさけめやひび割れがある。
- ・電源が入ったり切れたりする。
- ・本体から異常な音、熱、臭いがする。



ご使用中止

故障や事故防止のため、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜き、必ず販売店にご相談ください。

K026_A_Ja

はじめに

本機の特長

本機は Native Instruments 社製 DJ ソフトウェア TRAKTOR SCRATCH を使った DJ プレイのために最適に設計された 2 チャンネルミキサーです。DJ ソフトウェアは、Native Instruments 社の協力のもと DJ プレイに必要な数々のフィーチャーを搭載した「TRAKTOR SCRATCH DUO 2」を付属しています。ハードウェアでは、TRAKTOR SCRATCH の豊富な機能を迷うことなく操作するためのコントローラーや、コンピュータとシンプルに接続するためのサウンドカードを内蔵しています。お手持ちの DJ プレーヤーやアナログプレーヤーと組み合わせることによって、DVS(Digital Vinyl System) を構築できます。また、品質と性能の両面で評価の高いパイオニア DJM シリーズの技術を継承しているので、ご家庭はもちろんクラブシーンでものご使用においても DJ パフォーマンスを強力にサポートします。

- TRAKTOR SCRATCH PRO 2 にアップデートしていただくと、さらに豊富なパフォーマンス機能をお楽しみいただけます (有料)。

INTERNAL TRAKTOR 2 CONTROLLER

本機は TRAKTOR SCRATCH の操作に最適なコントローラーを搭載しています。本機のほかにコントローラーを用意することなく、TRAKTOR SCRATCH を正確に操作できます。

ブラウズ機能およびトランスポート機能を操作するためのセクションは、選曲からミックスまでの操作手順に合わせてミキサーセクションの上部に配置しています。パフォーマンス機能 (EFFECT、LOOP、HOT CUE、SAMPLER) を操作するためのセクションは、直感的に操作できるようプレーヤーの配置に合わせてチャンネルごとに左右に独立して配置しています。

PLUG AND PLAY

本機はコンピュータを接続するための USB サウンドカードを内蔵しています。本機のほかに外付けのサウンドカードを用意することなく、USB ケーブル 1 本でコンピュータと接続できます。

面倒な設定を一切することなく、すぐに「TRAKTOR SCRATCH DUO 2」を使った DJ プレイを始められます。

HIGH DURABILITY FADER

クロスフェーダーには、独自開発の磁気方式を採用しています。耐久性を高めるとともに、スムーズな操作感を保持し、長期間に渡りスクラッチプレイをお楽しみいただけます。また、お好みに応じて操作負荷、フェーダーカーブ、およびカットラグを調整できます。チャンネルフェーダーには、フェーダーノブを 2 本の金属シャフトで支持するスライド構造を採用しています。ぐらつきがなくスムーズな操作性を実現するとともに、当社従来機種に比べて約 3 倍の耐久性を実現しました。また、新開発のフェーダーを採用することで、液体や粉塵の進入によるフェーダー内部への影響を最小限に抑えています。

HIGH SOUND QUALITY

サウンドカードを内蔵しているため、コンピュータから出力された音声をデジタル信号のまま音質を劣化させることなく本機に入力できます。また、本機のオーディオ入出力回路は、高性能 D/A コンバーターの搭載と、デジタルノイズを抑制した独自のアナログ回路技術の採用により、原音を忠実に再現しバワフルで高品位なクラブサウンドを実現しています。

付属品を確認する

- TRAKTOR SCRATCH DUO 2 ソフトウェア DVD-ROM
- TRAKTOR SCRATCH CONTROL CD × 2
- TRAKTOR SCRATCH CONTROL VINYL × 2
- ドライバソフトウェア CD-ROM
- USB ケーブル
- 電源コード
- 保証書
- サービス窓口のご案内
- 取扱説明書 (本書)

クイックスタートガイド

このセクションでは、本機を DVS(Digital Vinyl System) として使うときの操作手順について説明しています。

- コンピュータで操作する機能や手順の説明文には [**TRAKTOR**] を添えて記載しています。

手順の流れ

- 1 「TRAKTOR 2 ソフトウェアをインストールする」
➡ 6ページ
- 2 「TRAKTOR 2 を起動する」
➡ 7ページ
- 3 「セットアップウィザードを使って初期設定する」
➡ 8ページ
- 4 「製品アクティベーションを行う」
➡ 8ページ
- 5 「ドライバソフトウェアをインストールする」
➡ 10ページ
- 6 「入力 / 出力端子に接続する」
➡ 11ページ
- 7 「本機を設定する」
➡ 12ページ
- 8 「設定ユーティリティの設定を変更する」
➡ 12ページ
- 9 「トラックを再生する」
➡ 12ページ

TRAKTOR 2 ソフトウェアをインストールする

- 本機は TRAKTOR SCRATCH PRO 2 にも対応しています。
TRAKTOR SCRATCH PRO 2 をお持ちのときは、最新のソフトウェアにアップデートしてお使いください。

TRAKTOR 2 ソフトウェアインストール時のご注意

対応 OS		
Mac OS X	10.5	○
	10.6	○
Windows® 7 Home Premium/Professional/Ultimate	32 ビット版	○
	64 ビット版	○
Windows Vista® Home Basic/Home Premium/Business/Ultimate (SP1 以降)	32 ビット版	○
	64 ビット版	○
Windows® XP Home Edition/Professional (SP3 以降)	32 ビット版	○

最新の動作環境、互換性、および最新の OS システムを取得するには、以下の Native Instruments 社のウェブサイトを参照してください。
<http://www.native-instruments.com/>

TRAKTOR 2 の最低動作環境

	Mac OS X のとき	Intel® Core™ Duo を搭載した Macintosh コンピュータ
CPU	Windows® 7、Windows Vista® および Windows® XP のとき	2.4 GHz 以上の Intel® Pentium® 4、Intel® Core™ Duo または AMD Athlon™ 64 を搭載した PC/AT 互換コンピュータ
必要メモリ	2 GB 以上の RAM	
ハードディスク	500 MB 以上の空き容量	
DVD ドライブ	DVD-ROM の読み込みが可能な光ディスクドライブ	
インターネット接続	NATIVE INSTRUMENTS ユーザー登録や TRAKTOR 2 ソフトウェアのアップデートなどのためにインターネット接続環境が必要です。 最新のウェブブラウザをお使いください。	
USB2.0 ポート	コンピュータと本機を接続するために USB2.0 ポートが必要です。	

- 上記の動作環境をみたしているすべてのコンピュータにおける動作を保証するものではありません。
- 上記の動作環境に記載されている必要メモリ容量を搭載していても、常駐プログラムやサービスの数によっては、メモリ不足でソフトウェアの機能・性能が発揮できないことがあります。このようなときは、十分な空きメモリを確保してください。安定した動作をさせるにはメモリの増設をお勧めします。
- コンピュータの省電力設定などの状態によっては、CPU やハードディスクの処理能力を十分に発揮できないことがあります。特にノート型コンピュータをお使いのときは、AC 電源

を接続するなどして、常に高パフォーマンス状態のセッティングで TRAKTOR 2 をお使いください。

- インターネットサービスを提供しているプロバイダーとの契約・料金が別途必要になります。

インストール手順 (Windows)

1 付属の TRAKTOR SCRATCH DUO 2 ソフトウェア DVD-ROM をコンピュータの DVD ドライブに挿入する

2 Windows の [スタート] メニューから、[コンピュータ (またはマイコンピュータ)] > [Traktor 2] のアイコンをダブルクリックする
DVD-ROM の内容が表示されます。

3 [Traktor 2 Setup.exe] をダブルクリックする

TRAKTOR 2 インストーラーが起動します。

4 TRAKTOR 2 インストーラーが起動したら [Next] をクリックする

- 前の画面へ戻るときは [Back] をクリックします。
- インストールを中止するときには [Cancel] をクリックします。



5 [License Agreement] の内容をよく読み、同意するときは [I accept the terms of the license agreement] にチェックを入れて [Next] をクリックする

[License Agreement] の内容に同意しないときは [Cancel] をクリックしてインストールを中止してください。



6 TRAKTOR 2 のインストールの種類を選んで [Next] をクリックする

通常は [Controller Editor] および [Service Center] を含む全オプションをインストールしてください。

7 TRAKTOR 2 をインストールする場所を選んで [Next] をクリックする

通常のインストール場所を選ぶときは、そのまま [Next] をクリックしてください。任意のインストール場所を選ぶときは、[Change...] をクリックしてインストール場所を選んでから [Next] をクリックしてください。

8 Native Instruments 社製ハードウェアドライバを選んで [Next] をクリックする

お持ちのハードウェアのチェックボックスにチェックを入れてください。

9 Traktor Kontrol X1 または Traktor Kontrol S4 用ドライバをインストールするときはチェックボックスにチェックを入れて [Next] をクリックする

10 以下の画面が表示されたら [Next] をクリックする

インストールが始まります。

インストールが完了すると、インストール完了画面が表示されます。



11 [Finish] をクリックする

インストールが完了します。

インストール手順 (Macintosh)

1 付属の TRAKTOR SCRATCH DUO 2 ソフトウェア DVD-ROM をコンピュータの DVD ドライブに挿入する

画面上に [Traktor 2] のアイコンが表示されます。

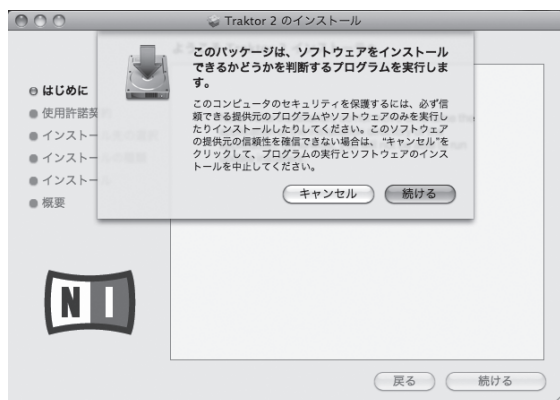
2 [Traktor 2] のアイコンをダブルクリックする

DVD-ROM の内容が表示されます。

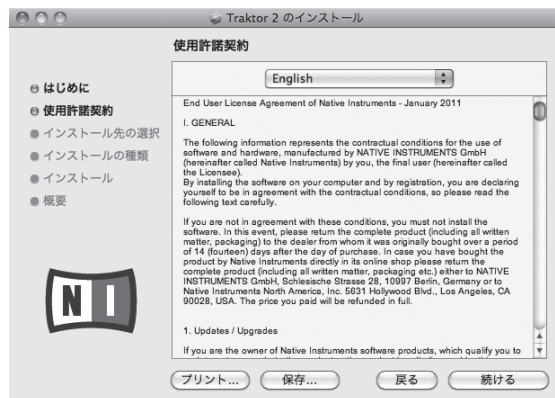
3 [Traktor 2 Installer.mpkg] をダブルクリックする

TRAKTOR 2 インストーラーが起動します。

4 TRAKTOR 2 インストーラーが起動したら [続ける] をクリックする

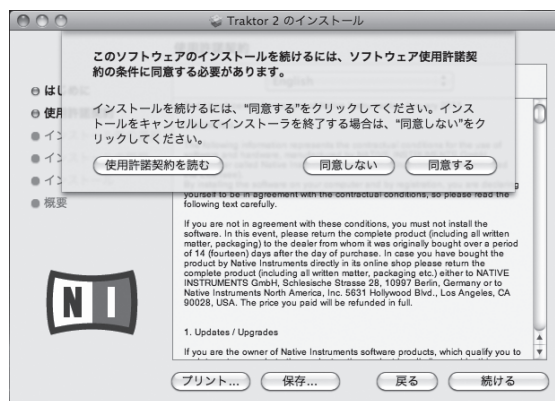


5 使用許諾契約の内容をよく読み [続ける] をクリックする



6 使用許諾契約の内容に同意するときは [同意する] をクリックする

使用許諾契約の内容に同意しないときは [同意しない] をクリックしてインストールを中止してください。



7 Native Instruments 社製ハードウェアドライバを選んで [続ける] をクリックする

お持ちのハードウェアのチェックボックスにチェックを入れてください。

8 TRAKTOR 2 をインストールする場所を選んで [インストール] をクリックする

通常のインストール場所を選ぶときは、そのまま [インストール] をクリックしてください。

任意のインストール場所を選ぶときは、[インストール先を変更...] をクリックしてインストール場所を選んでから [インストール] をクリックしてください。

インストールが始まります。

インストールが完了すると、インストール完了画面が表示されます。

9 [再起動] をクリックする

インストールが完了します。

TRAKTOR 2 を起動する

Windows のとき

Windows の [スタート] メニューから、[すべてのプログラム] > [Native Instruments] > [Traktor 2] を開いて、[Traktor 2] のアイコンをクリックする

Mac OS X のとき

Finder で [アプリケーション] フォルダを開いてから [Native Instruments] > [Traktor 2] を開いて、[Traktor] のアイコンをダブルクリックする

セットアップウィザードを使って初期設定する

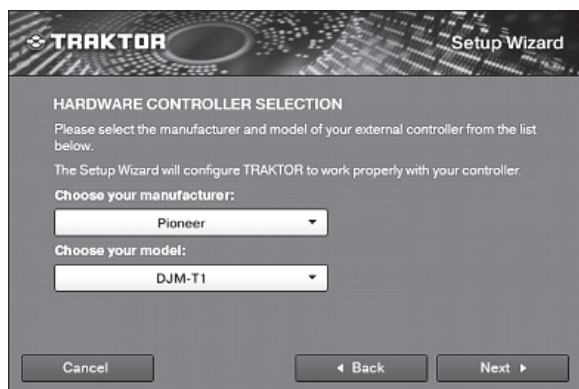
TRAKTOR 2 を初めて起動したときはセットアップウィザードが表示されます。画面の指示に従って操作すると、本機を使うために必要な内容を初期設定できます。

- セットアップウィザードは、TRAKTOR 2 の [Help] メニュー > [Start Setup Wizard] から起動することもできます。

1 [HARDWARE CONTROLLER SETUP] 画面で [Yes] を選んで [Next] をクリックする



2 [HARDWARE CONTROLLER SELECTION] 画面で [manufacturer] に [Pioneer]、[model] に [DJM-T1] を選んで [Next] をクリックする



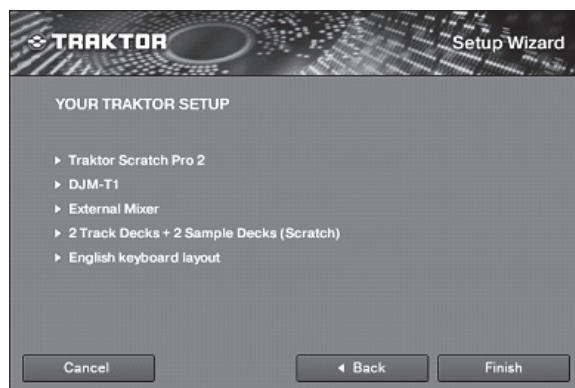
3 [TIMECODE CONTROLLER SELECTION] 画面で [CD(Audio 4/8 DJ)] を選んで [Next] をクリックする



4 [DECK SETUP SELECTION] 画面で [2Track Decks + 2Sample Decks(Scratch)] を選んで [Next] をクリックする



5 [YOUR TRAKTOR SETUP] 画面で [Finish] をクリックする



初期設定が完了します。

製品アクティベーションを行う

TRAKTOR SCRATCH DUO 2 をお使いいただくために、まず Native Instruments SERVICE CENTER (以下、SERVICE CENTER) でソフトウェアの製品アクティベーション (以下、アクティベーション) を行ってください。

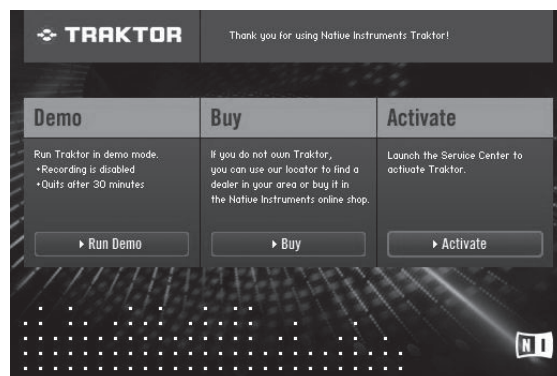
SERVICE CENTER の起動方法

- 以下3通りの方法があります。
- TRAKTOR 2 起動時のダイアログから起動する。
 - TRAKTOR 2 の [Help] メニューから起動する。
 - SERVICE CENTER を直接起動する。

❖ TRAKTOR 2 起動時のダイアログから起動するとき

1 TRAKTOR 2 を起動する

以下の画面が表示されます。



- このダイアログは SERVICE CENTER でライセンス取得しないと TRAKTOR 2 起動時に毎回表示されます。

2 ライセンス取得方法を選んでクリックする

- [Run Demo] : TRAKTOR 2 をデモモードで起動します。
- [Buy] : Native Instruments オンラインショップで TRAKTOR 2 を購入できます。
- [Activate] : SERVICE CENTER でただちにライセンスを取得します。

❖ TRAKTOR 2 の [Help] メニューから起動するとき

TRAKTOR 2 の [Help] メニューから [Launch Service Center] をクリックする

❖ SERVICE CENTER を直接起動するとき

Windows のとき

Windows の [スタート] メニューから、[Native Instruments] > [Service Center] > [Service Center] のアイコンをクリックする

Mac OS X のとき

Finder で [アプリケーション] フォルダを開いてから [Service Center] > [Service Center] のアイコンをダブルクリックする

アクティベーションの方法

- オンラインアクティベーション：お使いのコンピュータがインターネットに接続されているとき。
- オフラインアクティベーション：お使いのコンピュータがインターネットに接続されていないとき。

❖ オンラインアクティベーション

1 SERVICE CENTER を起動する

ログイン画面が表示されます。



2 E-mail アドレスおよびパスワードを入力してから [ログイン] をクリックする

- はじめてログインするときは、新たにユーザーアカウントを作成する必要があります。
[新規ユーザーアカウント作成] をクリックするとユーザーアカウント新規登録画面が表示されます。
必須記入項目 (E-mail アドレス、名前、苗字) を入力し、国名 / 地域名を選んでから [次] をクリックします。
登録情報確認画面が表示されたら内容を確認し [OK] をクリックします。
入力した E-mail アドレスにパスワードが送信されるので、ログイン画面に戻ってログインしてください。
- 新規ユーザーアカウントの登録時に入力する個人情報は、Native Instruments 社ウェブサイトの個人情報保護方針に基づき、収集、処理、使用されます。
パイオニア株式会社では個人情報の収集、処理、使用はしていません。

3 TRAKTOR SCRATCH DUO 2 ソフトウェア DVD-ROM の包装に貼り付けられているシリアル番号を入力し [アクティベート] をクリックする



4 製品ライセンス登録成功画面が表示されたら [終了] をクリックする

❖ オフラインアクティベーション

インターネットに接続されていないコンピュータにインストールした TRAKTOR SCRATCH DUO 2 をアクティベーションするときは、SERVICE CENTER をオフラインモードで使います。
この方法ではインターネットに接続できる 2 台目のコンピュータが必要です。

1 TRAKTOR SCRATCH DUO 2 をインストールするコンピュータ上で SERVICE CENTER を起動する

2 [インターネット接続はしないで続ける] の [オフライン] をクリックする

3 [リクエストファイルを作成する] の [作成する] をクリックする



4 TRAKTOR SCRATCH DUO 2 ソフトウェア DVD-ROM の包装に貼り付けられているシリアル番号を入力し [作成する] をクリックする

起動リクエストファイルが作成されるので USB デバイスなどに保存します。

5 起動リクエストファイルを保存した USB デバイスをインターネットに接続できるコンピュータにセットする

6 インターネットに接続できるコンピュータ上で起動リクエストファイルをダブルクリックする

ウェブブラウザが起動します。

7 製品アクティベーション画面が表示されたら [送ります] をクリックする

8 E-mail アドレスおよびパスワードを入力してから [SUBMIT] をクリックする

- はじめてログインするときは、新たにユーザーアカウントを作成する必要があります。
[No - I do not have an NI account.] にチェックを入れて [SUBMIT] をクリックするとユーザーアカウント新規登録画面が表示されます。
必須記入項目 (E-mail アドレス、名前、苗字、番地、都市、および郵便番号) を入力し、国名 / 地域名を選んでから [NEXT] をクリックします。
アンケート画面が表示されたらそれぞれの質問への回答を選んでから [SUBMIT] をクリックします。
入力した E-mail アドレスにパスワードが送信されるので、ログイン画面に戻ってログインしてください。
- 新規ユーザーアカウントの登録時に入力する個人情報は、Native Instruments 社ウェブサイトの個人情報保護方針に基づき、収集、処理、使用されます。
パイオニア株式会社では個人情報の収集、処理、使用はしていません。

9 [Service Center Activation Page] が表示されたら [NEXT] をクリックする

10 [Product] が [TRAKTOR SCRATCH DUO 2] であること、および [Status] が [OK] であることを確認してから [NEXT] をクリックする

起動リターンファイルが作成されるので USB デバイスなどに保存します。

11 TRAKTOR SCRATCH DUO 2 をインストールするコンピュータ上で SERVICE CENTER を起動する

12 [インターネット接続はしないで続ける] の [オフライン] をクリックする

13 [アクティベート] タブの [開く] をクリックする

起動リターンファイルをロードします。

14 SERVICE CENTER で製品アクティベーションが完了したことを確認する

ドライバソフトウェアをインストールする

本ドライバソフトウェアは、コンピュータからの音声を入力 / 出力するための専用ドライバソフトウェアです。本機を Windows または Mac OS がインストールされているコンピュータに接続してお使いになるときは、あらかじめコンピュータにドライバソフトウェアをインストールしてください。

ソフトウェア使用許諾契約書

このソフトウェア使用許諾契約書（以下「本契約」といいます）は、お客様とパイオニア株式会社（以下「当社」といいます）との間における、DJ 機器用ソフトウェア（以下「本ソフトウェア」といいます）の使用に関する事項を定めるものです。本ソフトウェアをインストールし、あるいはご利用になるにあたっては、必ず以下の条項をよくお読み下さい。お客様が本ソフトウェアをご利用になった場合は、本契約に同意されたものとします。もし本契約に同意されない場合には、本ソフトウェアのインストール及びご利用をおやめ下さい。

（使用許諾）

本契約の内容に従うことを条件として、お客様は、本ソフトウェアを一台のパーソナル・コンピュータにインストールして使用することができます。

（制限事項）

お客様は、本ソフトウェアの複製物を作成しあるいは配布し、またはネットワークを通じてあるいは一台のコンピュータから別のコンピュータに送信してはなりません。また、お客様は、本ソフトウェアの改変、販売、貸与、譲渡、転売、本ソフトウェアの二次的著作物の頒布又は作成等を行うことはできず、さらに、逆コンパイル、リバース・エンジニアリング、逆アセンブリ、その他、人間の覚知可能な形態に変更することもできません。

（著作権等）

本ソフトウェアに関する著作権その他一切の知的財産権は、当社あるいはその関連会社に帰属します。本ソフトウェアは、著作権法及び国際条約の規定により保護されています。

（保証及び技術サポートの否認）

本ソフトウェア及びそれに付随する一切の資料等は、あくまで「現状のまま」提供されます。当社は、お客様や第三者に対して、これらの商品性、特定目的への適合性、他人の権利を侵害しないこと、その他一切の事項について保証せず、また、これらに対する技術サポートを行うこと等も保証しません。なお、国や地域によっては強行法規によってかかる保証の否認が認められないことがありますので、その場合には、かかる保証の否認は適用されないことがあります。また、お客様の権利は、国や地域によっても異なり得ます。

（責任制限）

当社、その他本ソフトウェアの供給者は、お客様が本ソフトウェア及びこれに付随する一切の資料を使用したこと又は使用できなかったことから生じる一切の損害（利益の逸失、ビジネスの中断、情報の消失・毀損などによる損害を含みますが、これらに限定されません）に関しては、たとえ当社が、そのような損害が生じる可能性を知らされていた場合であったとしても、一切責任を負いません。国や地域によっては強行法規によって付随的又は間接損害に対する責任の制限が認められないことがありますので、その場合には、かかる責任制限は適用されないことがあります。なお、いかなる場合においても、本ソフトウェアに関する当社またはその子会社の責任は、お客様が当社またはその子会社に対して支払った金額を超えないものとします。かかる保証の否認や責任制限は、お客様と当社との間の取り決めにおける基本的な要素です。

（準拠法）

本契約は、日本国の法令に準拠し、これに基づいて解釈されるものとします。本契約は、本ソフトウェアの使用について、お客様と当社の取り決めのすべてを記載するものであり、本件に関する従前のあらゆる合意（それが口頭でなされたか文書によりなされたかを問いません）に優先して適用されます。本契約に関連して紛争が生じた場合は、東京地方裁判所を第一審の専属管轄裁判所とします。

ドライバソフトウェアをインストールする前に

- 「ソフトウェア使用許諾契約書」をよくお読みください。
- 本機の電源スイッチを切り、本機とコンピュータを接続している USB ケーブルを取り外してください。
- コンピュータ上で他に作業中のプログラムがあればすべて終了させてください。
- ドライバソフトウェアをインストール、アンインストールするには、コンピュータの管理者権限が必要です。コンピュータの管理者に設定されているユーザーでログオンしてからインストールしてください。
- ドライバソフトウェアをコンピュータにインストールしないで本機をコンピュータに接続すると、お客様の環境によってはコンピュータにエラーが発生することがあります。
- ドライバソフトウェアのインストールを途中で中止したときは、はじめからインストールをやり直してください。
- 付属のドライバソフトウェア CD-ROM には、以下の 12 言語のインストールプログラムが収録されています。
英語、フランス語、ドイツ語、イタリア語、オランダ語、スペイン語、ポルトガル語、ロシア語、簡体中国語、繁体中国語、韓国語、日本語
その他の言語の OS でお使いになるときは、画面の指示に従って [English (英語)] を選んでインストールしてください。

対応 OS		
Windows® 7 Home Premium/Professional/Ultimate	32 ビット版	○
	64 ビット版	○
Windows Vista® Home Basic/Home Premium/Business/Ultimate	32 ビット版	○
	64 ビット版	○
Windows® XP Home Edition/Professional (SP2 以降)	32 ビット版	○
Mac OS X 10.4.8 以降	32 ビット版	○
	64 ビット版	○
Mac OS X 10.6	32 ビット版	○
	64 ビット版	○

- Windows® XP Professional x64 Edition には対応していません。

インストール手順 (Windows)

1 付属のドライバソフトウェア CD-ROM をコンピュータの DVD ドライブに挿入する

2 CD-ROM のメニューが表示されたら、[DJM-T1_X.XXX.exe] をダブルクリックする

3 画面の指示に従ってインストールする

インストールの途中で [Windows セキュリティ] 画面が表示されることがありますが、[このドライバソフトウェアをインストールします] をクリックしてインストールを続行してください。

- Windows XP にインストールしているとき
インストールの途中で [ハードウェアのインストール] 画面が表示されることがありますが、[続行] をクリックしてインストールを続行してください。
- インストールプログラムが終了すると終了メッセージが表示されます。

インストール手順 (Macintosh)

1 付属のドライバソフトウェア CD-ROM をコンピュータの DVD ドライブに挿入する

2 [CD_menu] をダブルクリックする

3 [DJM-T1AudioDriver.dmg] をダブルクリックする

4 [DJM-T1AudioDriver.pkg] をダブルクリックする

5 画面の指示に従ってインストールする

入力 / 出力端子に接続する

機器の接続を行う場合、あるいは変更を行う場合には、必ず電源を切り、電源コードをコンセントから抜いてください。

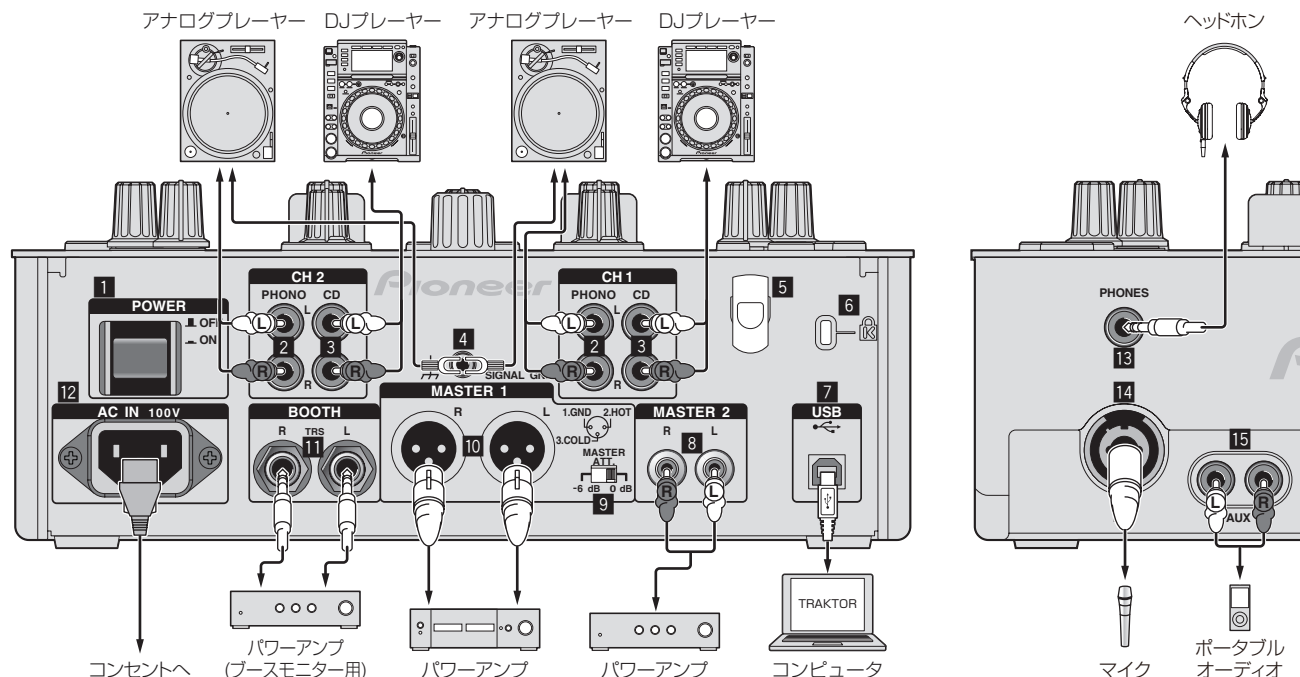
電源コードは、機器の接続がすべて終わってから接続してください。

必ず付属の電源コードをお使いください。

接続する機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

- コンピュータやオーディオインターフェースなどと組み合わせて DVS(Digital Vinyl System) を構築するときは、オーディオインターフェースと本機の入力端子の接続および入力切換スイッチの設定にご注意ください。
- DJソフトウェアおよびオーディオインターフェースの取扱説明書もあわせてご覧ください。

本体背面部、本体前面部



1 POWER ボタン

本機の電源をオン / オフします。

2 PHONO 端子

フォノレベル (MM カートリッジ用) の出力機器と接続します。ラインレベルの信号を入力しないでください。

[PHONO] 端子に機器を接続するときは、端子に差し込まれているショートピンプラグを取り外してください。

このショートピンプラグは、[PHONO] 端子に何も接続しないとき外部ノイズをカットするために差し込んで使います。

3 CD 端子

DJ プレーヤーやラインレベルの出力機器と接続します。

4 SIGNAL GND 端子

アナログプレーヤーのアース線と接続します。アナログプレーヤー接続時の雑音低減を図ります。

5 コードフック

USB ケーブルを引っ掛けて使います。

- 再生中に USB ケーブルが抜けると音声かとぎれます。

6 ケンジントンロック装着用穴

7 USB 端子

コンピュータと接続します。

- 本機とコンピュータは付属の USB ケーブルで直接接続してください。
- USB ハブは使えません。

8 MASTER2 端子

パワーアンプなどを接続します。

9 MASTER ATT.

[MASTER1] 端子および [MASTER2] 端子から出力される音声の減衰レベルを設定します。

[-6 dB] に設定すると、[MASTER1] 端子および [MASTER2] 端子から出力される音声レベルが半分に下がります。

10 MASTER1 端子

パワーアンプなどを接続します。

11 BOOTH 端子 (18ページ)

ブースモニター用出力端子です。TRS 端子のため、バランス出力、アンバランス出力に対応しています。

- アンバランス出力時にレベルを上げすぎると音声かぎれます。

12 AC IN

付属の電源コードを使ってコンセントと接続します。電源コードは、機器の接続がすべて終わってから接続してください。

必ず付属の電源コードをお使いください。

13 PHONES 端子 (18ページ)

ヘッドホンに接続します。

14 MIC 端子 (23ページ)

マイクを接続します。

15 AUX IN 端子 (23ページ)

外部機器 (サンプラーやポータブルオーディオ) の出力端子と接続します。

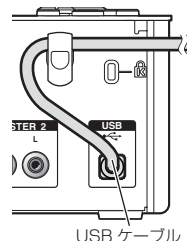
注意

製品の仕様により、本体部やリモコン (付属の場合) のスイッチを操作することで表示部がすべて消えた状態となり、電源プラグをコンセントから抜いた状態と変わらず見える場合がありますが、電源の供給は停止していません。製品を電源から完全に遮断するためには、電源プラグ (遮断装置) をコンセントから抜く必要があります。製品はコンセントの近くで、電源プラグ (遮断装置) に簡単に手が届くように設置し、旅行などで長期間ご使用にならないときは電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。

コードフック

USB ケーブルは、コードフックに引っ掛けることで固定されます。USB ケーブルを誤って引っ張り、プラグが端子から抜けてしまうことを防げます。

- 再生中に USB ケーブルが抜けると音声かとぎれます。



本機を設定する

本機とコンピュータを USB ケーブルで接続する前に、必ず本機専用のドライバソフトウェアをインストールしてください。

1 [CD, PHONO, USB] 入力切換スイッチを切り換える [USB] に設定します。



2 本機とコンピュータを USB ケーブルで接続する

- 本機は ASIO 規格に準拠したオーディオデバイスとしての機能を備えています。
- USB2.0 に対応していないコンピュータでは動作しません。
 - ASIO 対応のアプリケーションを使うときは、[USB 1/2]、[USB 3/4]、[USB 5/6] を入力として使えます。
 - DJ アプリケーションによってコンピュータの推奨動作環境が異なります。お使いの DJ アプリケーションの推奨動作環境を必ずご確認ください。
 - 他の USB オーディオデバイスと同時にコンピュータに接続すると、正常に動作および認識されないことがあります。コンピュータと本機だけを接続することをお勧めします。
 - コンピュータと接続するときは、本機の USB 端子に直接接続することをお勧めします。

3 [POWER] ボタンを押す

本機の電源をオンにします。

- 本機をはじめてコンピュータに接続したとき、またはコンピュータの USB 端子をつなぎ変えたときに [デバイスドライバソフトウェアをインストールしています。] メッセージが表示されることがあります。[デバイスを使用する準備ができました。] メッセージが表示されるまでそのままお待ちください。
- Windows XP にインストールしているとき
 - インストールの途中で [ハードウェア検索のため、Windows Update に接続しますか?] と表示されることがあります。[いいえ、今回は接続しません] を選んで [次へ] をクリックしてインストールを続行してください。
 - インストールの途中で [インストール方法を選んでください] と表示されることがあります。[ソフトウェアを自動的にインストールする (推奨)] を選んで [次へ] をクリックしてインストールを続行してください。
 - インストールの途中で [Windows セキュリティ] 画面が表示されることがありますが、[このドライバソフトウェアをインストールします] をクリックしてインストールを続行してください。

設定ユーティリティの設定を変更する

1 設定ユーティリティを表示する

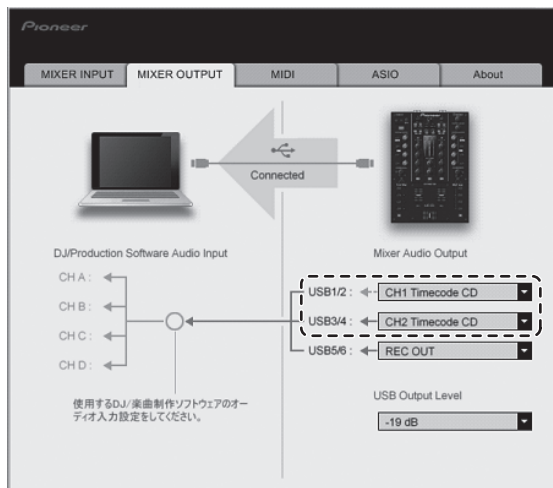
- Windows のとき
[スタート] メニュー > [すべてのプログラム] > [Pioneer] > [DJM-T1] > [DJM-T1 設定ユーティリティ] をクリックする
- Mac OS X のとき
[Macintosh HD] アイコン > [Application] > [Pioneer] > [DJM-T1] > [DJM-T1 設定ユーティリティ] をクリックする

2 [MIXER OUTPUT] タブをクリックする

3 [Mixer Audio Output] のプルダウンメニューをクリックする

本機に接続している機器に合わせて以下のように設定します。

	DJ プレーヤー (CONTROL CD) を使うとき	アナログプレーヤー (CONTROL VINYL) を使うとき
USB 1/2	CH1 Timecode CD	CH1 Timecode PHONO
USB 3/4	CH2 Timecode CD	CH2 Timecode PHONO



トラックを再生する

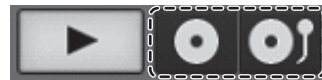
1 DJ プレーヤーに CONTROL CD をセットする

- アナログプレーヤーを使うときは CONTROL VINYL をセットします。

2 TRAKTOR 2 を [Scratch Control] モードに設定する

TRAKTOR

TRAKTOR 2 の [▶] ボタン右部分が以下のように表示されているか確認してください。



- [CUE] および [CUP] と表示されているときは、コンピュータを操作して TRAKTOR 2 を [Scratch Control] モードに切り換えてください。

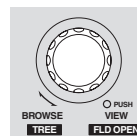
3 [SHIFT] ボタンを押しながら [▶/II (REL.)] ボタンまたは [CUE (ABS.)] ボタンを押す

リレティブモードまたはアブソルートモードを選びます。

- [SHIFT] ボタンを押しながら [▶/II (REL.)] ボタンを押す: リレティブモードに切り換わります。
リレティブモードは、CONTROL CD/CONTROL VINYL の再生位置を無視するモードです。
- [SHIFT] ボタンを押しながら [CUE (ABS.)] ボタンを押す: アブソルートモードに切り換わります。
アブソルートモードは、CONTROL CD/CONTROL VINYL の再生位置をトラックの再生位置に反映させるモードです。

4 ロータリーセクターを回す

トラックを選びます。



5 [LOAD (DUPLICATE)] ボタンを押す

選んでいるトラックをデッキにロードします。



- トラックを選ぶ方法およびトラックをデッキへロードする方法について、詳しくは 14 ページの「ブラウズセクション」をご覧ください。

6 CONTROL CD を再生する

TRAKTOR 2 のデッキにロードされているトラックの再生が始まります。

- アナログプレーヤーを使うときは CONTROL VINYL を再生します。

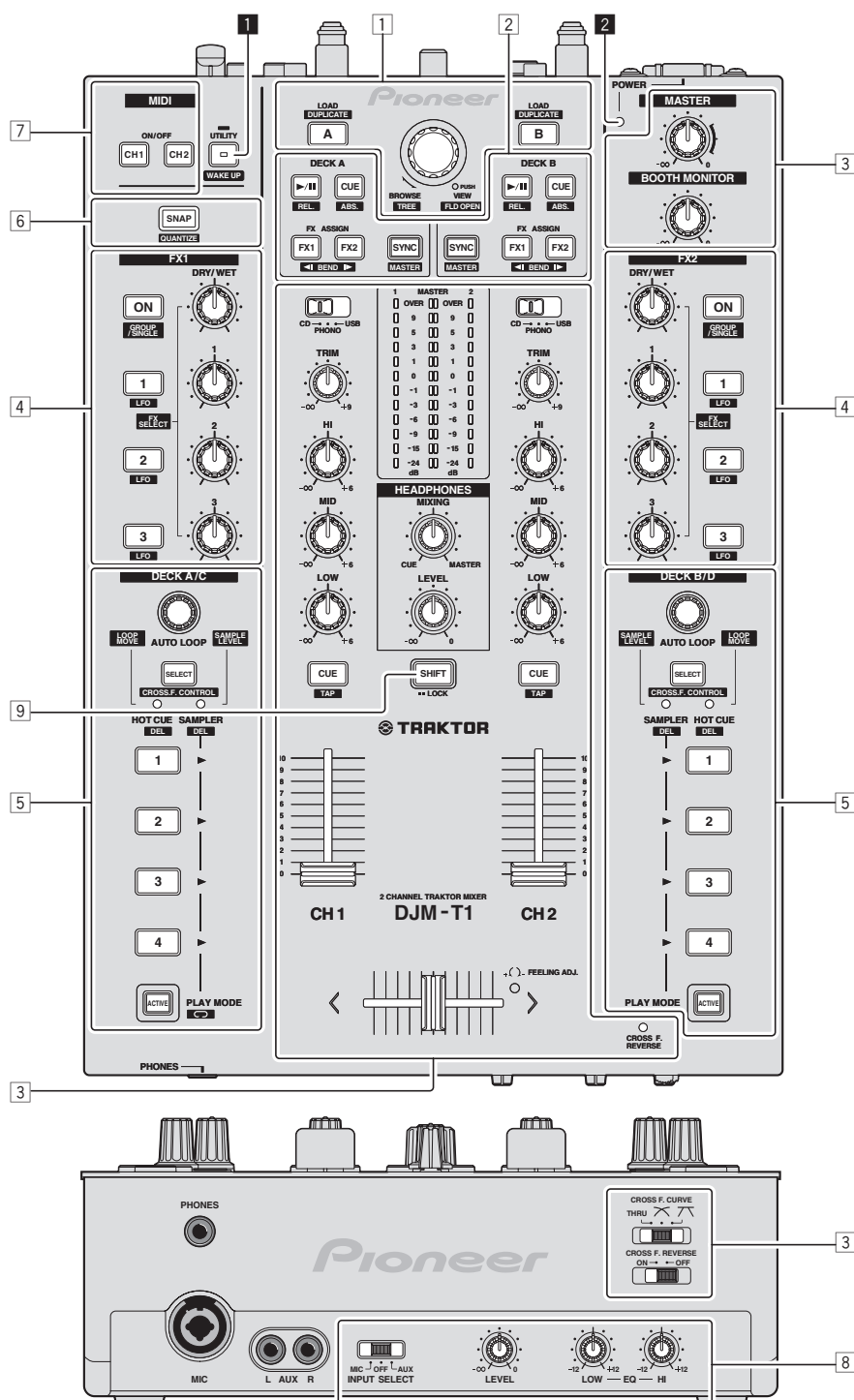
7 タイムコード信号の状態を確認する

TRAKTOR 2 がタイムコード信号 (CONTROL CD/CONTROL VINYL に記録されている信号) を正しく認識しているか確認してください。

- タイムコード信号の状態は、デッキのスコープ画面で確認できます。
スコープ画面を表示するときは [Preferences] > [Decks] > [Platter / Scope] で、CONTROL CD/CONTROL VINYL を使うデッキのプルダウンメニューから [Scope] を選びます。
TRAKTOR 2 が正常にタイムコード信号を認識しているときは、スコープ画面に下図のような二重の円が表示されます。
- スコープ画面について詳しくは、TRAKTOR 2 Application Reference の「12 TRAKTOR Scratch の設定」もあわせてご覧ください。



操作する



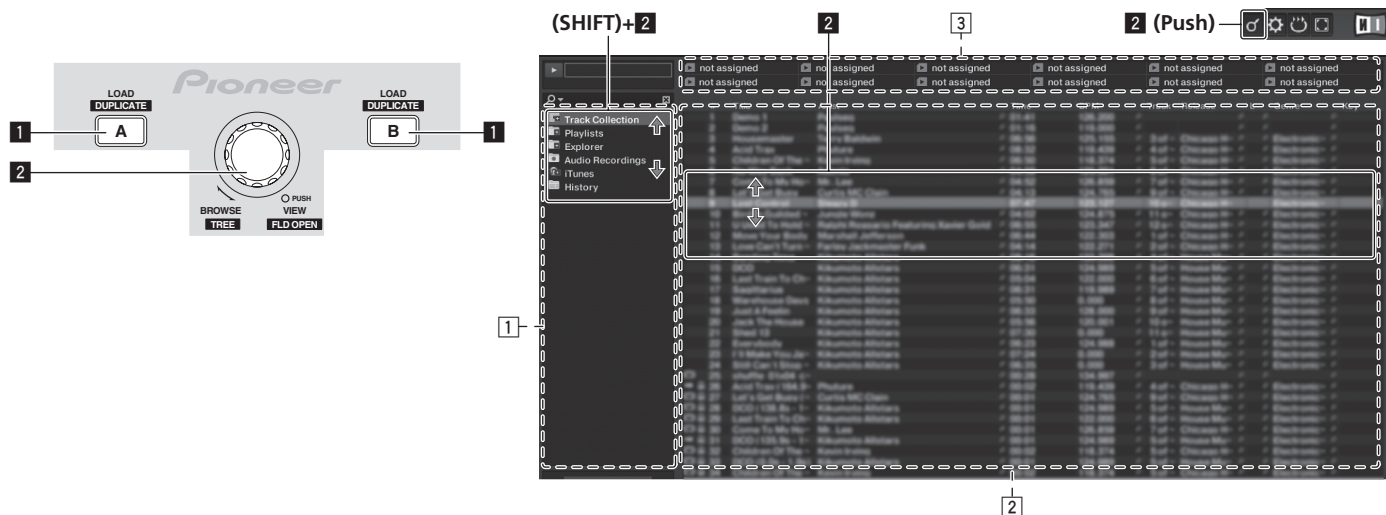
- 1 ブラウズセクション (14ページ)
- 2 トランスポートセクション (15ページ)
- 3 ミキサーセクション (17ページ)
- 4 エフェクトセクション (19ページ)
- 5 ホットキュー / サンプラーセクション (21ページ)
- 6 グローバルセクション (23ページ)
- 7 MIDI セクション (23ページ)
- 8 マイク / AUX セクション (23ページ)
- 9 SHIFT セクション (24ページ)

1 UTILITY(WAKE UP) ボタン

- 押す：
スタンバイ状態を解除します (27ページ)。
- 1 秒以上押す：
本機の設定を変更するモードに切り換わります (27ページ)。

2 POWER インジケーター

本機の電源がオンのとき点灯します。



1 LOAD (DUPLICATE) ボタン

- 押す：
カーソルで選んでいるトラックを各デッキにロードします。
- [SHIFT] + 押す：
一方のデッキにロードされているトラックがもう一方のデッキにコピーされてロードされます。

2 ローターリーセクター

- 回す：
[TRACK] エリアのカーソルが移動します。
- 押す：
[BROWSE] エリアの拡大表示をオン / オフします。
- [SHIFT] + 回す：
[TREE] エリアのカーソルが移動します。
- [SHIFT] + 押す：
フォルダを開閉します。
- * エリアの説明
 - [TREE] エリア：上図の ① 部分を [TREE] エリアと呼びます。
 - [TRACK] エリア：上図の ② 部分を [TRACK] エリアと呼びます。
 - [FAVORITES] エリア：上図の ③ 部分を [FAVORITES] エリアと呼びます。
 - [BROWSE] エリア：上図の ①、②、③ を合わせて [BROWSE] エリアと呼びます。

TRAKTOR 2 にトラックをインポートする

TRAKTOR

Explorer または Finder から、音楽ファイルまたは音楽ファイルが入ったフォルダを TRAKTOR 2 の [TREE] エリアの [Track Collection] にドラッグ & ドロップする

- [Track Collection] を右クリック (Mac OS X のときは [control] キーを押しながらクリック) してメニューから [Import Music Folders] を選ぶと、お使いのシステム内の [My Music] フォルダまたは [Music] フォルダにあるすべての音楽ファイルをインポートします。

❖ プレイリストを作成する

- 1 TRAKTOR 2 の [TREE] エリアの [Playlists] を右クリックする
 - Mac OS X のときは [control] キーを押しながらクリックします。
- 2 メニューから [Create Playlist] を選ぶ
- 3 プレイリストの名前を入力して [OK] をクリックする
作成したプレイリストが [Playlists] に表示されます。
- 4 作成したプレイリストに音楽ファイルをドラッグ & ドロップして登録する

❖ FAVORITES を作成する

[FAVORITES] エリアの空のスロットにプレイリストフォルダをドラッグ & ドロップする

デッキにトラックをロードする

- 1 [SHIFT] ボタンを押しながらロータリーセクターを回す
プレイリストまたはフォルダを選びます。
- 2 [SHIFT] ボタンを押しながらロータリーセクターを押す
フォルダを開閉します。
 - [+] マークが付いていない項目は開閉できません。
- 3 [SHIFT] ボタンから手を放してロータリーセクターを回す
トラックを選びます。
- 4 [LOAD (DUPLICATE)] ボタンを押す
選んでいるトラックをデッキにロードします。
 - [BROWSE] エリアを拡大表示しているときにトラックをロードすると、[BROWSE] エリアの表示が通常の大きさに戻ります。

❖ iTunes の音楽ファイルを再生する

iTunes で音楽ファイルを管理している場合、TRAKTOR 2 のブラウザで iTunes のライブラリとプレイリストに直接アクセスできます。

- 1 [SHIFT] ボタンを押しながらロータリーセクターを回す
[iTunes] フォルダを選びます。
- 2 [SHIFT] ボタンを押しながらロータリーセクターを押す
フォルダを開閉します。
- 3 iTunes と同じようにライブラリとプレイリストをブラウズする
 - TRAKTOR 2 のブラウザでは、iTunes ライブラリとプレイリストは編集できません。
 - TRAKTOR 2 のブラウザから再生すると、iTunes の音楽ファイルは TRAKTOR 2 の [Track Collection] に自動でインポートされます。

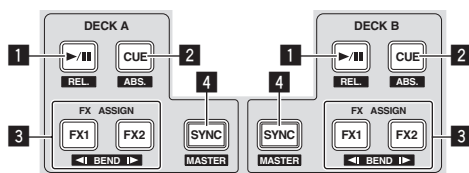
デュプリケイト機能を使う

一方のデッキにロードされているトラックを、もう一方のデッキに簡単にコピーできます。

- 以下では、デッキ [A] からデッキ [B] にトラックをコピーするときの操作手順について説明しています。

- 1 トラックを選んでデッキ [A] の [LOAD (DUPLICATE)] ボタンを押す
デッキ [A] にトラックがロードされます。
- 2 [SHIFT] ボタンを押しながらデッキ [B] の [LOAD (DUPLICATE)] ボタンを押す
デッキ [A] にロードされているトラックがデッキ [B] にコピーされてロードされます。

トランスポートセクション



Internal Playback mode



1 ▶/II (REL.) ボタン

- ・ 押す：
トラックを再生 / 一時停止します。
- ・ [SHIFT] + 押す：
TRAKTOR 2 のプレイバックトラックモードをリレティブモードに切り換えます。
リレティブモードは、CONTROL CD/CONTROL VINYL の再生位置を無視するモードです。

2 CUE (ABS.) ボタン

一時停止しているとき

- ・ 押す：
一時停止している位置にキューポイントを設定します。
— TRAKTOR 2 の [SNAP] をオフにしているとき：
キューポイントが [Beat Grid] に関係なく、現在一時停止している位置に設定されます。
— TRAKTOR 2 の [SNAP] をオンにしているとき：
キューポイントが一番近い [Beat Grid] と同じ位置に設定されます。

再生しているとき

- ・ 押す：
設定されているキューポイントに戻り、頭出しされて一時停止状態になります (バックキュー)。
キューポイントに戻ったあとに [CUE (ABS.)] ボタンを押し続けると押し続けている間、再生を続けます。
- ・ [SHIFT] + 押す：
TRAKTOR 2 のプレイバックトラックモードをアブソルートモードに切り換えます。
アブソルートモードは、CONTROL CD/CONTROL VINYL の再生位置をトラックの再生位置に反映させるモードです。

3 FX ASSIGN (◀| BEND ▶) ボタン

- ・ [FX 1] ボタンを押す：
ボタンを押したデッキに TRAKTOR 2 のエフェクトユニット [FX 1] をアサインします。
- ・ [FX 2] ボタンを押す：
ボタンを押したデッキに TRAKTOR 2 のエフェクトユニット [FX 2] をアサインします。
* TRAKTOR SCRATCH DUO 2 をお使いのときは、[FX 1] はデッキ [A] に、[FX 2] はデッキ [B] にアサイン先が固定されます。
TRAKTOR SCRATCH PRO 2 にアップグレードすると、各デッキに [FX 1] または [FX 2] が自由にアサインできるようになります。
- ・ [SHIFT] + [FX 1] ボタンを押す：
トラックの再生速度が一時的に遅くなります。
- ・ [SHIFT] + [FX 2] ボタンを押す：
トラックの再生速度が一時的に速くなります。

4 SYNC (MASTER) ボタン

- ・ 押す：
ボタンを押したデッキのトラックの [BPM] および [Beat Grid] が同期用マスターに同期します。
- ・ [SHIFT] + 押す：
ボタンを押したデッキを同期用マスターとします。

Scratch Control mode



再生する

[▶/II (REL.)] ボタンを押す

❖ 一時停止する

再生中に [▶/II (REL.)] ボタンを押す

キューを設定する

1 再生中に [▶/II (REL.)] ボタンを押す

再生を一時停止します。

2 [CUE (ABS.)] ボタンを押す

一時停止した位置にキューポイント [▲] が設定されます。

このとき音声は出力されません。

- ・ 新しいキューポイントを設定すると、以前に設定したキューポイントは解除されます。

❖ キューポイントに戻る (バックキュー)

再生中に [CUE (ABS.)] ボタンを押す

設定されているキューポイントに瞬時に戻り、頭出しされて一時停止状態になります。

- ・ [▶/II (REL.)] ボタンを押すと、キューポイントから再生が始まります。

❖ キューポイントを確認する (キューポイントサンプラー)

キューポイントに戻ったあとに [CUE (ABS.)] ボタンを押し続ける

設定されているキューポイントから再生が始まります。

[CUE (ABS.)] ボタンを押し続けている間、再生を続けます。

ピッチベンドする

[SHIFT] ボタンを押しながら [FX 1] ボタンまたは [FX 2] ボタンを押す

- [SHIFT] + [FX 1] ボタンを押す：
トラックの再生速度が一時的に遅くなります。
- [SHIFT] + [FX 2] ボタンを押す：
トラックの再生速度が一時的に速くなります。

再生速度を他のデッキに同期させる（ビートシンク）

1 再生中のデッキの [SHIFT] ボタンを押しながら [SYNC (MASTER)] ボタンを押す

ボタンを押したデッキを同期用マスターとします。

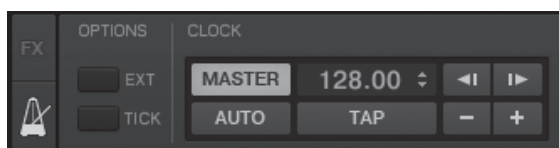
2 同期用マスターに設定されていないデッキの [SYNC (MASTER)] ボタンを押す

同期用マスターに設定されていないデッキのトラックの [BPM] および [Beat Grid] が、同期用マスターに設定されているデッキのトラックの [BPM] および [Beat Grid] に同期します。

- 同期用マスターの設定については、16ページの「同期用マスターを設定する」をご覧ください。
- 以下のときはビートシンク機能が正常に動作しないことがあります。
 - ループの長さが 1 ビートより小さい。
 - トラックが解析されていない。

❖ 同期用マスターを設定する

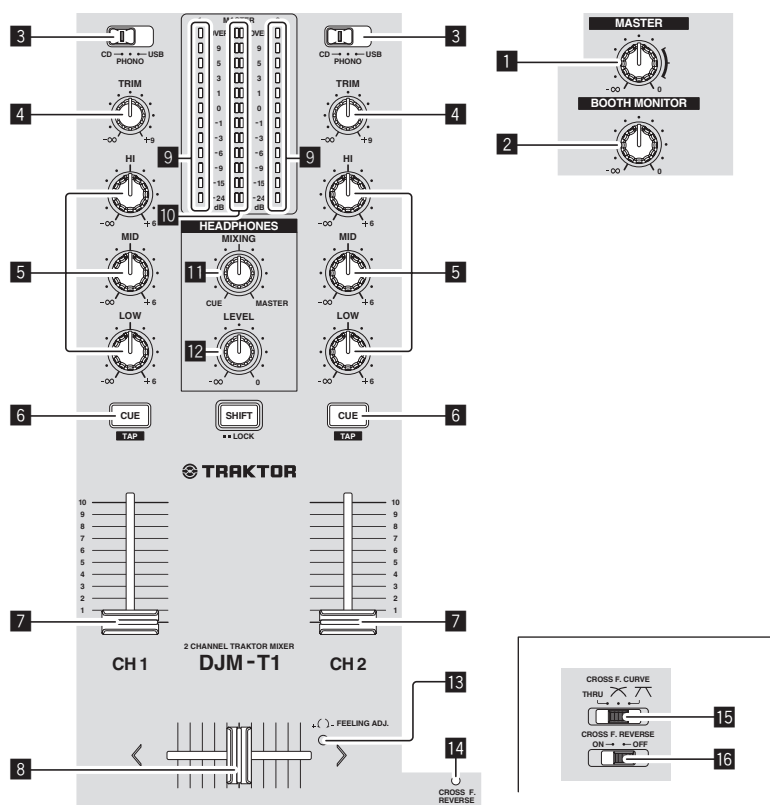
TRAKTOR



【🔊】をクリックする

同期用マスターは以下の 2 種類から選んで設定できます。

- [MASTER]：ユーザーが入力した BPM 値またはタッピングによる BPM 値をマスターに設定します。
 - [AUTO]：自動でマスターを設定します。再生中の 2 つのデッキのうち、マスターに設定されているデッキを一時停止すると、もう一方のデッキが自動的にマスターに設定されます。
- TRAKTOR SCRATCH DUO 2 をお使いのときは、常に [AUTO] に設定されます。TRAKTOR SCRATCH PRO 2 にアップグレードすると、[MASTER] または [AUTO] を選べます。



1 MASTER LEVEL ツマミ

[MASTER1] 端子および [MASTER2] 端子から出力される音声レベルを調整します。

2 BOOTH MONITOR ツマミ

[BOOTH] 端子から出力される音声レベルを調整します。

3 CD, PHONO, USB 入力切替スイッチ

本機に接続している機器の中から、各チャンネルの入力ソースを切り換えます。
 — [CD] : [CD] 端子に接続している DJ プレーヤーを選びます。
 — [PHONO] : [PHONO] 端子に接続しているアナログプレーヤーを選びます。
 — [USB] : [USB] 端子に接続しているコンピュータの音声を選びます。

4 TRIM ツマミ

各チャンネルに入力される音声レベルを調整します。

5 EQ (HI, MID, LOW) ツマミ

各チャンネルの音質を調整します。
 [HI] (高音域)、[MID] (中音域)、[LOW] (低音域) をそれぞれ調整します。

6 CUE (TAP) ボタン

- ・ 押す :
モニターしたいチャンネルの [CUE (TAP)] ボタンを押します。
- ・ [SHIFT] + 押す :
トラックのテンポに合わせて 4 回押すと、TRAKTOR 2 のテンポディスプレイに表示される BPM 値を設定できます。

7 チャンネルフェーダー

各チャンネルから出力される音声レベルを調整します。

8 クロスフェーダー

各チャンネルの音声を [CROSS F. CURVE (THRU, ㄨ, ㄨ)] 切換スイッチで選んでいるカーブ特性に従って出力します。

9 チャンネルレベルインジケータ

各チャンネルのチャンネルフェーダー通過前の音声レベルを表示します。

10 マスターレベルインジケータ

[MASTER1] 端子および [MASTER2] 端子から出力される音声レベルを表示します。

11 HEADPHONES MIXING ツマミ

[CUE (TAP)] ボタンが押してあるチャンネルの音声と、[MASTER] チャンネルの音声のモニター音量バランスを調整します。

12 HEADPHONES LEVEL ツマミ

[PHONES] 端子から出力される音声レベルを調整します。

13 FEELING ADJ. 調整用穴

クロスフェーダーの操作負荷を調整できます。

14 CROSS F. REVERSE インジケータ

[CROSS F. REVERSE] スイッチがオンのとき点灯します。

15 CROSS F. CURVE (THRU, ㄨ, ㄨ) 切換スイッチ

クロスフェーダーのカーブ特性を切り換えます。

16 CROSS F. REVERSE スイッチ

クロスフェーダーリバース機能をオン / オフします。

チャンネルフェーダーつまみおよびクロスフェーダーつまみは無理に引き抜かないでください。簡単に引き抜けない構造になっているため、ノブが壊れる可能性があります。

音声を出力する

[MASTER1] 端子および [MASTER2] 端子に接続しているパワーアンプのボリュームを適切に設定してください。ボリュームを上げすぎると大音量で音声出力されますのでご注意ください。

1 [CD, PHONO, USB] 入力切替スイッチを切り換える

本機に接続している機器の中から、各チャンネルの入力ソースを切り換えます。

2 [TRIM] ツマミを回す

各チャンネルに入力される音声レベルを調整します。

3 チャンネルフェーダーを奥側に動かす

各チャンネルから出力される音声レベルを調整します。

4 クロスフェーダーを動かす

スピーカーから音声出力するチャンネルを切り換えます。

- 左端 : [CH 1] の音声出力します。
- センター位置 : [CH 1] と [CH 2] の音声をミックスして出力します。
- 右端 : [CH 2] の音声出力します。
- ・ [CROSS F. CURVE (THRU, ㄨ, ㄨ)] 切換スイッチを [THRU] に設定しているときは、この操作は必要ありません。

5 [MASTER LEVEL] ツマミを回す

[MASTER1] 端子および [MASTER2] 端子から音声出力されます。

音質を調整する

各チャンネルの [EQ (HI, MID, LOW)] ツマミを回す

各つまみで調整できる音域については、32 ページの「仕様」をご覧ください。

ヘッドホンで音声をモニターする

1 [PHONES] 端子にヘッドホンを接続する

2 モニターしたいチャンネルの [CUE (TAP)] ボタンを押す

3 [HEADPHONES MIXING] ツマミを回す

[CUE (TAP)] ボタンが押してあるチャンネルの音声と、[MASTER] チャンネルの音声のモニター音量バランスを調整します。

- [MASTER] チャンネルの音声だけをモニターするときは、[HEADPHONES MIXING] ツマミをセンター位置より右に回してください。

4 [HEADPHONES LEVEL] ツマミを回す

[CUE (TAP)] ボタンが押してあるチャンネルの音声と [MASTER] チャンネルの音声ミックスされてヘッドホンから出力されます。

- [CUE (TAP)] ボタンをふたたび押すと、モニターが解除されます。

クロスフェーダーのカーブ特性を選ぶ

[CROSS F. CURVE (THRU, ㄆ, ㄆ)] 切換スイッチを切り換える

- [THRU]：クロスフェーダーを使わないときに選びます。
- [ㄆ]：徐々に立ち上がるカーブになります。
- [ㄆ]：急峻に立ち上がるカーブになります（クロスフェーダーが [CH 1] 側の端から離れると、すぐに [CH 2] 側の音声出力されます）。

クロスフェーダーの操作負荷を調整する

マイナスドライバーを使って、クロスフェーダーを操作するときの負荷（重さ）を調整できます。

- クロスフェーダーは、減衰カーブとフェーダー両端の遊び（カットラグ）を調整できます。詳しくは、27ページの「本機の設定を変更する」をご覧ください。

1 クロスフェーダーを右側 ([CH 2] 側) の端に寄せる

2 [FEELING ADJ.] 調整用穴にマイナスドライバーを差し込んで回す

- 時計回りに回す：負荷が小さく（軽く）なります。
- 反時計回りに回す：負荷が大きく（重く）なります。

フェーダーリバー機能を使う

[CROSS F. REVERSE] スイッチをオンにすると、クロスフェーダーの操作方向を逆向きにできます。

[CROSS F. REVERSE] スイッチを [ON] にする

[BOOTH] 端子から音声出力する

[BOOTH MONITOR] ツマミを回す

[BOOTH] 端子から出力される音声レベルを調整します。

- [BOOTH] 端子からマイク音声出力しないように設定することもできます。詳しくは、27ページの「本機の設定を変更する」をご覧ください。

TAP 機能を使う

TRAKTOR 2 のテンポディスプレイに表示される BPM 値を TAP 機能を使って設定できます。

1 デッキにトラックをロードする

詳しくは、14ページの「デッキにトラックをロードする」をご覧ください。

2 トラックを再生する

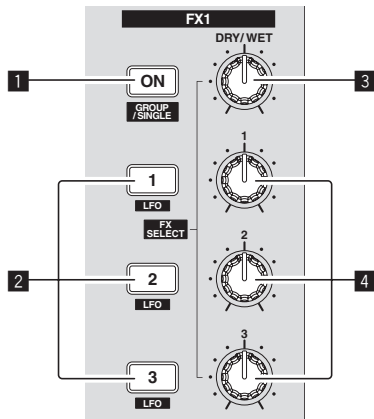
詳しくは、15ページの「再生する」をご覧ください。

3 トラックのテンポに合わせて [SHIFT] ボタンを押しながら [CUE (TAP)] ボタンを 4 回押す

[CUE (TAP)] ボタンを押した間隔の平均値が BPM 値に設定されます。

- この操作ではトラックのテンポ（再生速度）は変わりません。

エフェクトセクション



1 ON (GROUP/SINGLE) ボタン

[Group] モードで使うとき

- 押す:
機能しません。
- [SHIFT] + 押す:
エフェクトパネルのモードを切り換えます。
[Group] モード ⇄ [Single] モード

[Single] モードで使うとき

- 押す:
エフェクトをオン / オフします。
- [SHIFT] + 押す:
エフェクトパネルのモードを切り換えます。
[Group] モード ⇄ [Single] モード
 - [Group] モード:
各エフェクトパネルに最大 3 つのエフェクトを選んで同時に操作できます。
 - [Single] モード:
選択した 1 つのエフェクトのパラメーターを細かく操作できます。
TRAKTOR SCRATCH DUO 2 では [Single] モードは選べません。
TRAKTOR SCRATCH PRO 2 にアップグレードすると、エフェクトパネルを [Single] モードに切り換えられます。

2 エフェクトコントロールボタン

[Group] モードで使うとき

- 押す:
各エフェクトをオン / オフします。
- [SHIFT] + 押す:
 - 本機の設定で [Generic Controller Mode] がオンのとき:
エフェクトの種類を切り換えます。
 - 本機の設定で [Generic Controller Mode] がオフのとき:
LFO CONTROL 機能をオン / オフします。

[Single] モードで使うとき

- [1] ボタンを押す:
すべてのエフェクトのパラメーターを基本設定値に戻します。
- [2] ボタンまたは [3] ボタンを押す:
各パラメーターをオン / オフします。パラメーターの種類はエフェクトによって異なります。
- [SHIFT] + [1] ボタンを押す:
 - 本機の設定で [Generic Controller Mode] がオンのとき:
エフェクトの種類を切り換えます。
 - 本機の設定で [Generic Controller Mode] がオフのとき:
LFO CONTROL 機能をオン / オフします。
- [SHIFT] + [2] ボタンまたは [SHIFT] + [3] ボタンを押す:
 - 本機の設定で [Generic Controller Mode] がオンのとき:
機能しません。
 - 本機の設定で [Generic Controller Mode] がオフのとき:
LFO CONTROL 機能をオン / オフします。

3 DRY/WET ツマミ

[Group] モードで使うとき

- 回す:
エフェクト音と原音のバランスを調整します。
- [SHIFT] + 回す:
機能しません。

[Single] モードで使うとき

- 回す:
エフェクト音と原音のバランスを調整します。
- [SHIFT] + 回す:
エフェクトの種類を切り換えます。

4 エフェクトコントロールツマミ

[Group] モードで使うとき

- 回す:
各エフェクトの度合いを調整します。
- [SHIFT] + 回す:
エフェクトの種類を切り換えます。
- * LFO CONTROL 機能がオンのとき
 - 回す:
各エフェクトの度合いを変化させる周期を調整します。
 - [SHIFT] + 回す:
機能しません。

[Single] モードで使うとき

- 回す:
各パラメーターを調整します。
- [SHIFT] + 回す:
機能しません。
- * LFO CONTROL 機能がオンのとき
 - 回す:
各パラメーターを変化させる周期を調整します。
 - [SHIFT] + 回す:
機能しません。

エフェクト機能を使う

- 以下では、[Group] モードのエフェクト機能の操作手順について説明しています。

1 [FX 1] ボタンまたは [FX 2] ボタンを押す

TRAKTOR 2 のエフェクトユニットをデッキにアサインします。

- TRAKTOR SCRATCH DUO 2 をお使いのときは、[FX 1] はデッキ [A] に、[FX 2] はデッキ [B] にアサイン先が固定されます。
TRAKTOR SCRATCH PRO 2 にアップグレードすると、各デッキに [FX 1] または [FX 2] が自由にアサインできるようになります。

2 [SHIFT] ボタンを押しながらエフェクトコントロールツマミを回す

エフェクトの種類を選びます。

- 本機の設定で [Generic Controller Mode] がオンのとき、[SHIFT] ボタンを押しながらエフェクトコントロールボタンを押してエフェクトの種類を選ぶこともできます。

3 エフェクトコントロールツマミを回す

エフェクト音の度合いを調整します。

4 エフェクトコントロールボタンを押す

エフェクトをオンにします。

- 同じボタンをふたたび押すと、エフェクトがオフになります。

5 [DRY/WET] ツマミを回す

すべてのエフェクトを合わせたエフェクト音と原音のバランスを調整します。

LFO CONTROL 機能を使う

LFO CONTROL 機能をオンにすると、TRAKTOR 2 に送るエフェクトのパラメーター値を指定した速度で変化させられます。この機能を使って手動操作では実現できない個性的なエフェクト音を作り出せます。

LFO CONTROL 機能はエフェクトコントロールボタン [1] ~ [3] のそれぞれに個別に設定できます。

- あらかじめ本機の設定で [Generic Controller Mode] をオフにしてください。詳しくは、27ページの「本機の設定を変更する」をご覧ください。

- 以下では、[Group] モードの LFO CONTROL 機能の操作手順について説明しています。

1 [SHIFT] ボタンを押しながらエフェクトコントロールツマミを回す

エフェクトの種類を選びます。

2 [SHIFT] ボタンを押しながらエフェクトコントロールボタンを押す

LFO CONTROL 機能をオンにします。

エフェクトがオフのときは同時にエフェクトがオンになります。

- 同じボタンをふたたび押すと、LFO CONTROL 機能がオフになり、エフェクトがオンの状態に戻ります。

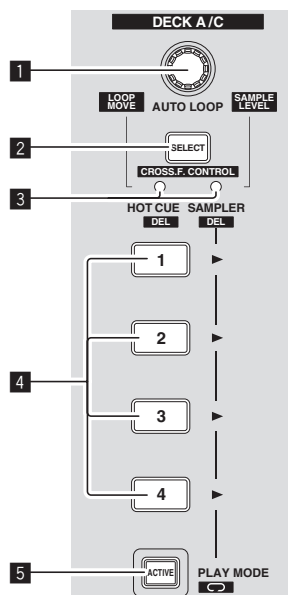
3 エフェクトコントロールツマミを回す

各エフェクトの度合いを変化させる周期を調整します。

4 [DRY/WET] ツマミを回す

すべてのエフェクトを合わせたエフェクト音と原音のバランスを調整します。

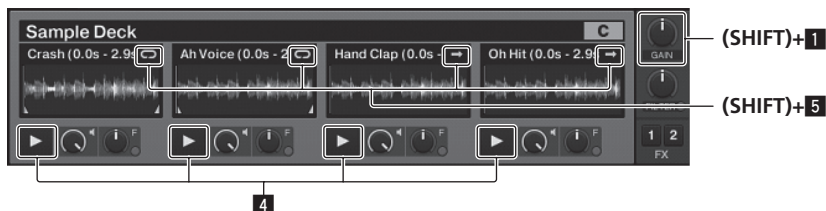
ホットキュー / サンプラーセクション



HOT CUE mode



SAMPLER mode



1 AUTO LOOP (LOOP MOVE/SAMPLE VOLUME) ツマミ

ホットキュー機能で使うとき

- ・ 回す：
ループのサイズを変更します。
- ・ 押す：
ループ再生をオン / オフします。
- ・ [SHIFT] + 回す：
ループの位置を移動します。
- ・ [SHIFT] + 押す：
機能しません。

サンプラー機能で使うとき

- ・ [SHIFT] + 回す：
サンプルデッキの音量を調整します。
- ・ [SHIFT] + 押す：
サンプルデッキの音量を基本設定値に戻します。

2 SELECT ボタン

- ・ 押す：
押すたびホットキュー / サンプラーセクションの機能を切り換えます。
ホットキュー機能 ⇄ サンプラー機能
- ・ [SHIFT] + 押す：
CROSS FADER CONTROL 機能をオン / オフします。

3 SELECT インジケーター

ホットキュー / サンプラーセクションの機能に合わせて点灯または点滅します。

- ホットキュー機能のとき：緑色に点灯します。
- サンプラー機能のとき：オレンジ色に点灯します。
- CROSS FADER CONTROL 機能がオンのとき：緑色またはオレンジ色で点滅します。

4 HOT CUE/SAMPLER ボタン

ホットキュー機能で使うとき

- ・ 押す：
 - 再生中または一時停止中にホットキューが設定されていないとき：
ボタンを押した位置にホットキューを設定します。
 - 再生中または一時停止中にホットキューが設定されているとき：
ホットキューを呼び出します。
- ・ [SHIFT] + 押す：
ホットキューを削除します。

* TRAKTOR

[CUE TYPE] (ホットキューの種類) は、[] アイコンの左の [▼] をクリックして変更できます。

サンプラー機能で使うとき

詳しくは、22ページの「HOT CUE/SAMPLER ボタン動作一覧表」をご覧ください。

5 ACTIVE ボタン

ホットキュー機能で使うとき

- ・ 押す：
ホットキューに登録されているループの再生モードを切り換えます。
ループ再生する ⇄ ループ再生しない

サンプラー機能で使うとき

- ・ 押す：
サンプルデッキの、[HOT CUE/SAMPLER] ボタンのボタンモードを切り換えます。

サンプルプレイモード ⇄ トリガプレイモード

詳しくは、22ページの「HOT CUE/SAMPLER ボタン動作一覧表」をご覧ください。

- ・ [SHIFT] + 押す：
サンプルデッキの、サンプルのループモードを切り換えます。
ループプレイモード ⇄ ワンショットプレイモード
 - [] ループプレイモード：
サンプル音を最後まで再生すると最初に戻り再生を続けます。
 - [] ワンショットプレイモード：
サンプル音を最後まで再生すると停止します。

ホットキュー機能を使う

1 [SELECT] ボタンを押す

ホットキュー / サンプラーセクションをホットキュー機能に切り換えます。

[SELECT] インジケーター、[HOT CUE/SAMPLER] ボタン、および [ACTIVE] ボタンが緑色に点灯している状態に切り換えます。

2 [HOT CUE/SAMPLER] ボタンを押す

ボタンを押したときの再生位置にホットキューが設定されます。

- ・ ループ再生中に [HOT CUE/SAMPLER] ボタンを押すと、再生中のループをホットキューに登録できます。
- ・ すでに [HOT CUE/SAMPLER] ボタンにホットキューが登録されているときは、この操作は必要ありません。

3 再生中または一時停止中に [HOT CUE/SAMPLER] ボタンを押す

ホットキューを呼び出します。

- ・ [HOT CUE/SAMPLER] ボタンにループが登録されているときは、[ACTIVE] ボタンを押してループの再生モードを切り換えられます。

サンプラー機能を使う

サンプルデッキ [C] およびサンプルデッキ [D] のサンプラスロットに、サンプル音をロードして再生できます。

- ・ サンプルデッキ [C] を操作するとき：
 - デッキ [A] のトラックがサンプラスロットにロードされます。
 - 本機の [CH 1] 側の [HOT CUE/SAMPLER] ボタンが各サンプラスロットに対応しています。
- ・ サンプルデッキ [D] を操作するとき：
 - デッキ [B] のトラックがサンプラスロットにロードされます。
 - 本機の [CH 2] 側の [HOT CUE/SAMPLER] ボタンが各サンプラスロットに対応しています。
- ・ [HOT CUE/SAMPLER] ボタンは、サンプル音のループモードおよび [HOT CUE/SAMPLER] ボタンのボタンモードによって動作が異なります。詳しくは、「HOT CUE/SAMPLER ボタン動作一覧表」をご覧ください。
- ・ 以下では、サンプルデッキ [C] のサンプラスロットに、デッキ [A] のトラックをロードして再生するときの操作手順について説明しています。
本機の [CH 1] 側のホットキュー / サンプラーセクションを操作してください。

1 デッキ [A] にトラックをロードする

2 [SELECT] ボタンを押す

ホットキュー / サンプラーセクションをサンプラー機能に切り換えます。
[SELECT] インジケーター、[HOT CUE/SAMPLER] ボタン、および [ACTIVE] ボタンがオレンジ色に点灯している状態に切り換えます。

3 [HOT CUE/SAMPLER] ボタンを押す

デッキ [A] にロードされているトラックがサンプルデッキ [C] のサンプラーズロットにロードされます。

- トラックは、ボタンを押したときの再生位置からオートループのループサイズ分がサンプリングされてサンプラーズロットにロードされます。
- [SHIFT] ボタンを押しながら [HOT CUE/SAMPLER] ボタンを押すと、[TRACK] エリアのカーソルで選んでいるトラックをサンプラーズロットにロードできます (再生時間が 48 秒より長いトラックはロードできません)。

4 [SHIFT] ボタンを押しながら [ACTIVE] ボタンを押す

サンプル音のループモードを切り換えます。

- [サンプル音を最後まで再生すると最初に戻り再生を続けます。
- [サンプル音を最後まで再生すると停止します。

5 [ACTIVE] ボタンを押す

[HOT CUE/SAMPLER] ボタンのボタンモードを切り換えます。

- サンプルプレイモード：
ボタンを押すたびにサンプル音を再生またはミュートします。
- トリガプレイモード：
ボタンを押すとサンプル音の最初から再生し、放すと停止します。

- 詳しくは、22 ページの「HOT CUE/SAMPLER ボタン動作一覧表」をご覧ください。

6 [HOT CUE/SAMPLER] ボタンを押す、または [HOT CUE/SAMPLER] ボタンを押し続ける

サンプル音が再生されます。

- もう一度 [HOT CUE/SAMPLER] ボタンを押す、または [HOT CUE/SAMPLER] ボタンから指を放すとサンプル音の音声出力を止めます。

CROSS FADER CONTROL 機能を使う

CROSS FADER CONTROL 機能は、クロスフェーダーの操作に連動してホットキューの呼び出しおよびサンプル音の再生を始められる機能です。

- あらかじめ以下を準備してください。
 - 本機の設定で [Generic Controller Mode] をオフにする。
 - 27 ページの「本機の設定を変更する」をご覧ください。
 - デッキ [A] またはデッキ [B] にホットキューを登録する。
 - 21 ページの「ホットキュー機能を使う」をご覧ください。
 - サンプルデッキ [C] またはサンプルデッキ [D] にサンプル音をロードする。
 - 21 ページの「サンプラー機能を使う」をご覧ください。

HOT CUE/SAMPLER ボタン動作一覧表

• 押す：

サンプラーズロット	ループプレイモード ^①		ワンショットプレイモード ^①	
	サンプルプレイモード ^①	トリガプレイモード ^①	サンプルプレイモード ^①	トリガプレイモード ^①
サンプル音がロードされていないとき	デッキにロードされている音楽ファイルを、サンプラーズロットにサンプル音としてロードします。			
サンプル音がロードされているとき	サンプル音の再生を始めます。	ボタンを押しているあいだサンプル音を再生します。 ボタンから指を放すとサンプル音の再生を停止します。	サンプル音の再生を始めます。	ボタンを押しているあいだサンプル音を再生します。 ボタンから指を放すとサンプル音の再生を停止します。
サンプル音を再生しているとき	サンプル音をミュートします。 ^② 1 秒以上押すと、サンプル音の再生を停止します。	サンプル音を頭出しして再生を続けます。	サンプル音の再生を停止します。	サンプル音を頭出しして再生を続けます。

① [ACTIVE] ボタンを使ってモードを切り換えられます (21 ページ)。

② サンプル音がミュートされているときはミュートを解除します。

• [SHIFT] + 押す：

サンプラーズロット	ループプレイモード ^①		ワンショットプレイモード ^①	
	サンプルプレイモード ^①	トリガプレイモード ^①	サンプルプレイモード ^①	トリガプレイモード ^①
サンプル音がロードされていないとき	[TRACK] エリアで選んでいる音楽ファイルを、サンプラーズロットにサンプル音としてロードします。			
サンプル音がロードされているとき	サンプル音を削除します。			
サンプル音を再生しているとき	サンプル音を削除します。			

① [ACTIVE] ボタンを使ってモードを切り換えられます (21 ページ)。

- 連動させるデッキによって本機を操作する部分が異なります。
 - デッキ [A] およびサンプルデッキ [C] を連動させるとき：
本機の [CH 1] 側のホットキュー / サンプラーセクションを操作してください。
 - デッキ [B] およびサンプルデッキ [D] を連動させるとき：
本機の [CH 2] 側のホットキュー / サンプラーセクションを操作してください。
- [CROSS F. REVERSE] スイッチがオンのときは、クロスフェーダーの操作方向が逆向きになります。

1 [SHIFT] ボタンを押しながら [SELECT] ボタンを押す

CROSS FADER CONTROL 機能をオンにします。
[SELECT] インジケーターが点滅します。

- もう一度 [SHIFT] ボタンを押しながら [SELECT] ボタンを押すと、CROSS FADER CONTROL 機能がオフになります。

2 [SELECT] ボタンを押す

CROSS FADER CONTROL 機能に連動させる機能 (ホットキュー機能またはサンプラー機能) を選びます。

- ホットキュー機能を連動させるとき：
[SELECT] インジケーター、[HOT CUE/SAMPLER] ボタン、および [ACTIVE] ボタンが緑色に点灯および点滅している状態に切り換えます。
- サンプラー機能を連動させるとき：
[SELECT] インジケーター、[HOT CUE/SAMPLER] ボタン、および [ACTIVE] ボタンがオレンジ色に点灯および点滅している状態に切り換えます。
- ホットキュー機能およびサンプラー機能を、両方同時にクロスフェーダーの操作に連動させることができます (クロスフェーダーに連動させるホットキューおよびサンプル音をそれぞれの機能ごとに選ぶ必要があります)。

3 [HOT CUE/SAMPLER] ボタンを押す

クロスフェーダーの操作に連動させるホットキューおよびサンプル音を選びます。

- ホットキューを選ぶとき：
ホットキューが設定されている [HOT CUE/SAMPLER] ボタンを押します。
ホットキュー [1] ~ [4] から 1 つだけ選べます。
- サンプル音を選ぶとき：
サンプル音がロードされている [HOT CUE/SAMPLER] ボタンを押します。
[1] ~ [4] から最大 4 つ選べます。
- この手順ではホットキューおよびサンプル音は再生されません。
- [HOT CUE/SAMPLER] ボタンをふたたび押すと、選択状態が解除されます。

4 クロスフェーダーを動かす

CROSS FADER CONTROL 機能に連動させたいホットキューおよびサンプル音が設定されている側とは反対側の端に動かします。

5 クロスフェーダーを動かす

クロスフェーダーを [CH 1] 側の端から右方向へ動かすとデッキ [B] のホットキューとサンプルデッキ [D] のサンプル音が再生されます。
クロスフェーダーを [CH 2] 側の端から左方向へ動かすとデッキ [A] のホットキューとサンプルデッキ [C] のサンプル音が再生されます。

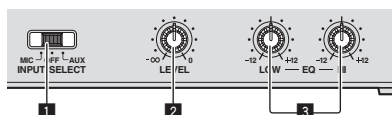
グローバルセクション



1 SNAP (QUANTIZE) ボタン

- 押す：
TRAKTOR 2 のスナップ機能をオン / オフします。
スナップ機能がオンのとき、キューポイントやループポイントが一番近い [Beat Grid] と同じ位置に設定されます。
- [SHIFT] + 押す：
TRAKTOR 2 のクオンタイズ機能をオン / オフします。
クオンタイズ機能がオンのとき、キューポイントやループポイントへの移動が拍のタイミングに同期します。

マイク /AUX セクション



1 INPUT SELECT スイッチ

- 音声の入力を外部機器またはマイクに切り換えます。
- [AUX] : [AUX] 端子に接続している外部機器を選びます。
 - [OFF] : [MIC/AUX] チャンネルをオフにします。
 - [MIC] : [MIC] 端子に接続しているマイクを選びます。
 - [MIC] 端子または [AUX] 端子から入力される音声は、クロスフェーダー通過後の [CH 1] および [CH 2] の音声にミックスされます。

2 LEVEL ツマミ

[MIC] 端子および [AUX] 端子に入力される音声レベルを調整します。

3 EQ (HI, LOW) ツマミ

[MIC/AUX] チャンネルの音質を調整します。

マイクや外部機器の音声を入力する

1 [MIC] 端子または [AUX] 端子に外部機器を接続する

2 [INPUT SELECT] スイッチを切り換える

3 [LEVEL] ツマミを回す

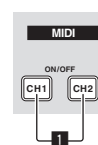
- [MIC] 端子または [AUX] 端子に入力される音声レベルを調整します。
- 右に回しすぎると大音量で音声が出力されますのでご注意ください。

❖ 音質を調整する

[EQ (HI, LOW)] ツマミを回す

各ツマミで調整できる音域については、32ページの「仕様」をご覧ください。

MIDI セクション



本機はボタンやツマミなどの操作情報を汎用の MIDI 形式で出力します。
MIDI 対応の DJ ソフトウェアをインストールしたコンピュータと USB ケーブルを使って接続すると、本機で DJ ソフトウェアを操作できます。

MIDI を使って DJ ソフトウェアを操作する

お使いのコンピュータにあらかじめ DJ ソフトウェアをインストールしてください。また、DJ ソフトウェアのオーディオおよび MIDI に関する設定も行ってください。

- MIDI チャンネルの設定方法については、26ページの「MIDI チャンネルを設定する」をご覧ください。
- 本機が出力するメッセージについては 28ページの「MIDI アサインマップ」をご覧ください。

1 本機の [USB] 端子とコンピュータを接続する

接続の仕方については、11ページの「入力 / 出力端子に接続する」をご覧ください。

2 DJ ソフトウェアを起動する

3 [CH 1] ボタンを押す

- [CH 1] 側の [TRIM] ツマミ、[EQ (HI, MID, LOW)] ツマミ、[CUE (TAP)] ボタン、チャンネルフェーダーおよびクロスフェーダー A の MIDI 機能が有効になります。
- クロスフェーダー A は、クロスフェーダーの音量調節機能から [CH 1] の音量調節機能だけを抜き出したものです。
 - ふたたび [CH 1] ボタンを押すと、これらの MIDI 機能が無効になります。

4 [CH 2] ボタンを押す

- [CH 2] 側の [TRIM] ツマミ、[EQ (HI, MID, LOW)] ツマミ、[CUE (TAP)] ボタン、チャンネルフェーダーおよびクロスフェーダー B の MIDI 機能が有効になります。
- クロスフェーダー B は、クロスフェーダーの音量調節機能から [CH 2] の音量調節機能だけを抜き出したものです。
 - ふたたび [CH 2] ボタンを押すと、これらの MIDI 機能が無効になります。

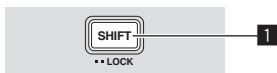
5 ミキサーセクションのボタンまたはツマミを操作する

操作しているボタンまたはツマミの MIDI メッセージが送信されます。

6 ミキサーセクション以外のボタンまたはツマミを操作する

- 操作しているボタンまたはツマミの MIDI メッセージが送信されます。
- ブラウズセクション、トランスポートセクション、エフェクトセクション、ホットキュー / サンプラーセクション、グローバルセクションのボタンまたはツマミは、[CH 1] ボタンと [CH 2] ボタンに関係なく常に MIDI 機能が有効です。

SHIFT セクション



1 SHIFT ボタン

- [SHIFT] ボタンを押しながら他のボタンを押す：
押されたボタンまたはツマミに割り当てられている別の機能 (2 番目の機能) を呼び出します。
- [SHIFT] ボタンを 2 回連続で押す：
[SHIFT] ボタンを押した状態でホールドします。ホールドを解除するには、もう一度 [SHIFT] ボタンを押します。
- ホールドしているとき、さらに [SHIFT] ボタンを押し続けながら他のボタンを押す：
ADVANCED SHIFT 機能がオンになり、押されたボタンまたはツマミに割り当てられている 3 番目の機能を呼び出します。
ADVANCED SHIFT 機能を解除するには、[SHIFT] ボタンから指を離します。

ADVANCED SHIFT 機能を使う

ADVANCED SHIFT 機能を使うと、ボタンまたはツマミに割り当てられた 3 番目の機能を呼び出せます。

DJ ソフトウェアと組み合わせて使うとき、[SHIFT] ボタンがオンまたはオフいずれの状態とも異なる 3 番目の MIDI コードを入出力できます。

- ADVANCED SHIFT 機能を使うときは、あらかじめ本機のファームウェアを 2.00 以降にアップデートしてください。ファームウェアのバージョンの確認方法については 27 ページの「ファームウェアのバージョンを確認する」をご覧ください。
- ADVANCED SHIFT 機能を使って呼び出す 3 番目の機能には、お好みの機能を自由にアサインできます。また、弊社の推奨設定もご用意しております。ADVANCED SHIFT 機能を推奨設定でお使いになるときは、弊社ホームページからセッティングファイルをダウンロードして TRAKTOR 2 にインポートしてください。
- ファームウェアのアップデート方法およびセッティングファイルの入手とインポート方法については、下記の弊社ホームページをご覧ください。
<http://www.prodjnet.com/support/>
ファームウェアバージョン 2.00 および ADVANCED SHIFT 機能対応セッティングファイルは、2011 年 9 月上旬に公開予定です。

1 [SHIFT] ボタンを 2 回連続で押す

[SHIFT] ボタンが点灯します。

2 [SHIFT] ボタンが点灯している状態で、さらに [SHIFT] ボタンを押し続ける

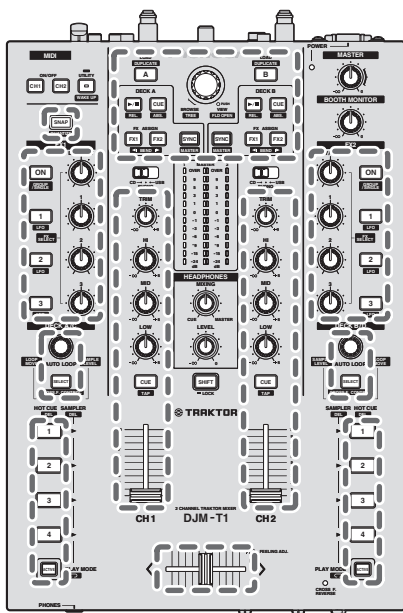
[SHIFT] ボタンが点滅に変わります。

3 [SHIFT] ボタンを押し続けながらボタンやツマミを操作する

ボタンやツマミに割り当てられている 3 番目の機能を呼び出します。

ADVANCED SHIFT 機能では、下図の点線で囲んだ箇所のボタンまたはツマミに 3 番目の機能を割り当てることができます。

- 一部のボタンやツマミには、3 つ以上の機能を割り当てることができます。機能 (MIDI コード) の割り当てについて詳しくは、28 ページの「MIDI アサインマップ」をご覧ください。



設定を変更する

TRAKTOR 2 の環境設定を変更する

お使いのハードウェアの使用状況に合わせて TRAKTOR 2 の環境設定を変更します。TRAKTOR 2 の環境設定について詳しくは **TRAKTOR 2 Application Reference** をご覧ください。

- 環境設定の変更内容を初期設定値に戻すときは、以下のウェブサイトでご確認ください。
<http://www.prodjnet.com/support/>

1 TRAKTOR 2 の [ (Preferences Button)] をクリックする
TRAKTOR 2 の設定メニューを開きます。

2 カテゴリーを選んで設定する

TRAKTOR 2 ソフトウェアをアップデートする

コンピュータがインターネットに接続されているとき、Native Instruments SERVICE CENTER (以下、SERVICE CENTER) にアクセスして TRAKTOR 2 ソフトウェアをアップデートできます。

1 SERVICE CENTER を起動しログインする

SERVICE CENTER の起動方法およびログインについては、8 ページ の「SERVICE CENTER の起動方法」をご覧ください。

2 [アップデート] タブをクリックする

更新できるアップデートを確認します。

3 チェックボックスにチェックを入れる

ダウンロードするアップデートを指定します。



4 [ダウンロード] をクリックする

アップデートを開始します。

TRAKTOR SCRATCH DUO 2 設定項目一覧

カテゴリー	説明
Audio Setup	音声入出力に使うオーディオ機器を選びます。 Macintosh を使うときのオーディオレイテンシーを設定します。
Output Routing	[Mixing Mode] を選びます。 — [Internal]: 本機で TRAKTOR 2 のミキサー部分をコントロールするときを選びます。 — [External]: 本機を使うときはこちらを選びます。 TRAKTOR 2 のデッキの音声出力と本機の入力チャンネルの関連付けを設定します。
Input Routing	TRAKTOR 2 のデッキの音声入力と本機の出力行チャンネルの関連付けを設定します。
Timecode Setup	タイムコード (CONTROL CD/CONTROL VINYL) を使うとき設定します。
Loading	デッキにトラックをロードするときの条件や機能を設定します。
Transport	テンポ機能やキーロック機能に関連する内容を設定します。
Decks	TRAKTOR 2 のデッキ部分の表示方法を設定します。
Mixer	オートゲインのオン / オフを設定します。 TRAKTOR 2 のミキサー部分の表示方法を設定します。
Global Settings	グローバルセクションを表示する / 表示しないを設定します。
Effects	エフェクトを選ぶときに表示されるエフェクトの種類を設定します。
Mix Recorder	TRAKTOR 2 の録音機能に関連する内容を設定します。
Browser Details	[BROWSE] エリアおよびフォントに関連する内容を設定します。

カテゴリー	説明
File Management	トラックのインポート、自動分析および分析の BPM 範囲などを設定します。
Controller Manager	TRAKTOR 2 の機能を本機のツマミやボタンにアサインします。
Traktor Kontrol X1	Native Instruments 社製の Traktor Kontrol X1 を使うとき設定します。
Traktor Kontrol S4	Native Instruments 社製の Traktor Kontrol S4 を使うとき設定します。

設定ユーティリティの設定を変更する

設定ユーティリティを使って以下の内容を確認および設定できます。

- 本機の [CD, PHONO, USB] 入力切替スイッチの状態を確認する
- 本機からコンピュータへの音声データ出力元を設定する
- バッファサイズを調整する (Windows ASIO 使用時)
- MIDI チャンネルを設定する
- ドライバソフトウェアのバージョンを確認する

設定ユーティリティを表示する

- TRAKTOR 2 を使うときは、必ず設定ユーティリティを終了してください。

Windows のとき

[スタート] メニュー > [すべてのプログラム] > [Pioneer] > [DJM-T1] > [DJM-T1 設定ユーティリティ] をクリックする

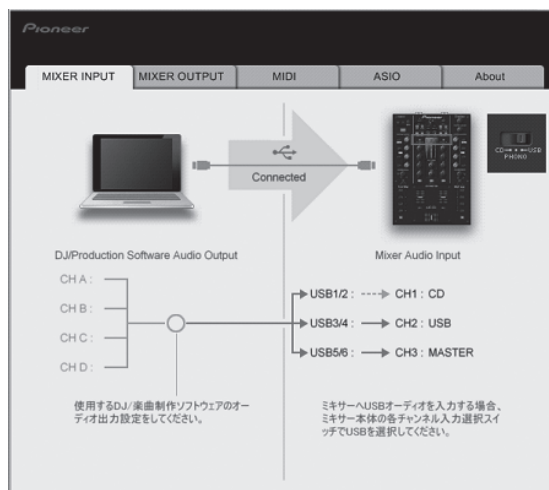
Mac OS X のとき

[Macintosh HD] アイコン > [Application] > [Pioneer] > [DJM-T1] > [DJM-T1 設定ユーティリティ] をクリックする

本機の [CD, PHONO, USB] 入力切替スイッチの状態を確認する

あらかじめ設定ユーティリティを表示してください。

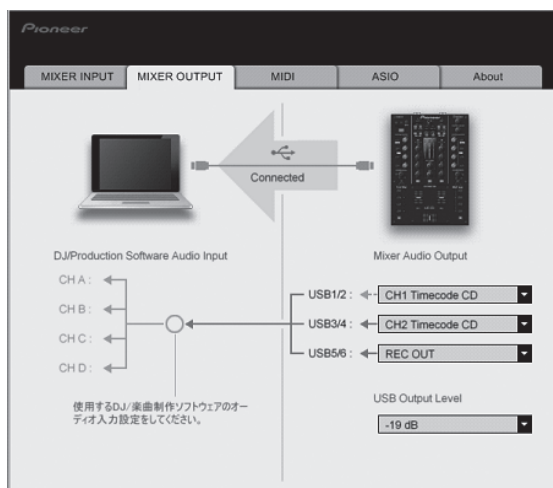
[MIXER INPUT] タブをクリックする



本機からコンピュータへの音声データ出力元を設定する

あらかじめ設定ユーティリティを表示してください。

1 [MIXER OUTPUT] タブをクリックする



2 [Mixer Audio Output] のプルダウンメニューをクリックする

本機内部の音声信号の流れの中から、コンピュータへ出力する音声データを選んで設定します。

USB 1/2	USB 3/4	USB 5/6
CH1 Timecode PHONO ^[1]	CH2 Timecode PHONO ^[1]	Post CH1 Fader
CH1 Timecode CD ^[1]	CH2 Timecode CD ^[1]	Post CH2 Fader
—	—	Cross Fader A
—	—	Cross Fader B
—	—	MIC/AUX Post EQ
—	—	REC OUT

[1] : [USB 1/2] および [USB 3/4] から出力される音声は、[USB Output Level] の設定に関係なく本機に入力された音量のまま出力されます。

3 [USB Output Level] のプルダウンメニューをクリックする

[USB 5/6] から出力される音声データの音量を調節します。

- DJソフトウェアの音量調節だけで十分な音量が得られないときは、[USB Output Level] を変更して本機から出力される音声データの音量を調節してください。音量を上げすぎると音声が歪むことがありますのでご注意ください。

MIDI チャンネルを設定する

あらかじめ設定ユーティリティを表示してください。

1 [MIDI] タブをクリックする



2 [MIDI CHANNEL] プルダウンメニューをクリックする

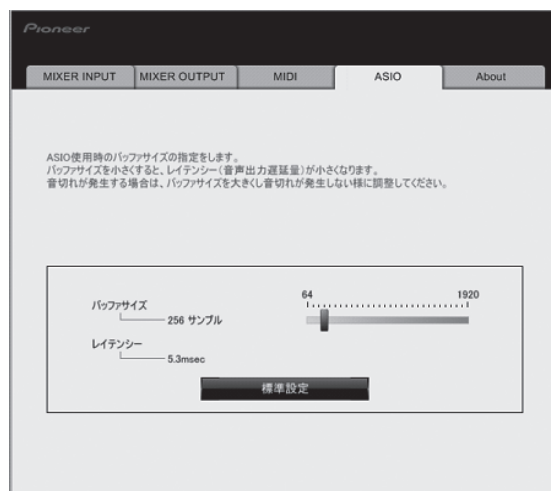
希望の MIDI チャンネルを選びます。

バッファサイズを調整する (Windows ASIO 使用時)

本機を既定のオーディオデバイスとして使っているアプリケーション (DJ ソフトウェアなど) が起動しているときは、そのアプリケーションを終了してからバッファサイズを調整してください。

あらかじめ設定ユーティリティを表示してください。

[ASIO] タブをクリックする

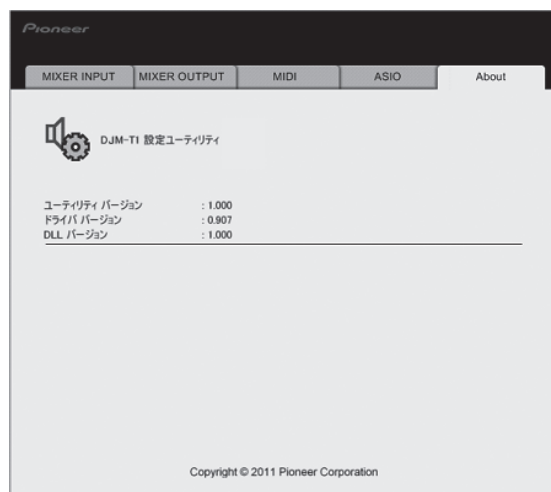


- バッファサイズを大きくすると、音声データの脱落 (音とぎれ) などが生じにくくなりますが、音声データの伝送遅延 (レイテンシー) によるタイムラグが増大します。

ドライバソフトウェアのバージョンを確認する

あらかじめ設定ユーティリティを表示してください。

[About] タブをクリックする



ドライバソフトウェアの最新情報を確認する

本機の専用ドライバソフトウェアの最新情報については、下記ホームページを参照してください。

<http://www.prodjnet.com/support/>

- 1 台のコンピュータに本機を複数台接続したときは、動作を保証できません。

本機の設定を変更する

1 [UTILITY (WAKE UP)] ボタンを 1 秒以上押す

[UTILITY (WAKE UP)] インジケーターおよび [CH 1] チャンネルレベルインジケーターの最上部が点滅します。

2 [LOAD (DUPLICATE) B] ボタンを押す

[LOAD (DUPLICATE) B] ボタンを押すたびに設定項目が切り換わります。
[CH 1] チャンネルレベルインジケーターの点滅位置が下へ移動します。

- [LOAD (DUPLICATE) A] ボタンを押すと、ひとつ前の設定項目に戻ります。
[CH 1] チャンネルレベルインジケーターの点滅位置が上へ移動します。

3 ロータリーセクターを回す

設定値を変更します。

- 設定値がオン / オフに切り換え可能なとき
 - オン:[CH 2] チャンネルレベルインジケーターの緑色部分が点灯します。
 - オフ:[CH 2] チャンネルレベルインジケーターの緑色部分が消灯します。
- 設定値が段階的に切り換え可能なとき
 - 設定値の 1 の位:[CH 2] チャンネルレベルインジケーターの点灯個数で表されます。
 - 設定値の 10 の位: マスターレベルインジケーターの点灯個数で表されます。

4 ロータリーセクターを押す

設定値を本機に記憶させます。

[UTILITY (WAKE UP)] ボタンが高速点滅します。記憶中は本機の電源を切らないでください。

- [UTILITY (WAKE UP)] ボタンの点滅が高速点滅から点滅に変わったら記憶完了です。
- [UTILITY (WAKE UP)] ボタンを押すと通常の動作へ戻ります。

オートスタンバイ機能について

[Auto Standby] を [ON] に設定しているとき、以下の条件をすべて満たしたまま 4 時間を過ぎると自動的にスタンバイ状態になります。

- 本機のボタンやツマミなどを操作していない。
- 本機の入力端子に音声信号が入力されていない。
- コンピュータと USB 接続していない。

- [UTILITY (WAKE UP)] ボタンを押すとスタンバイ状態が解除されます。
- 本機は、オートスタンバイ機能をオンに設定して出荷しています。オートスタンバイ機能をお使いにならないときは、[Auto Standby] を [OFF] に設定してください。

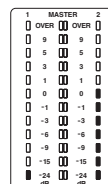
ファームウェアのバージョンを確認する

1 [UTILITY (WAKE UP)] ボタンを 1 秒以上押す

2 [LOAD (DUPLICATE) A] ボタンを押す

チャンネルレベルインジケーターおよびマスターレベルインジケーターの点灯状態でファームウェアのバージョンを表示します。

- [CH 1] チャンネルレベルインジケーターの点灯個数: 1 の位
 - マスターレベルインジケーターの点灯個数: 小数点第 1 位
 - [CH 2] チャンネルレベルインジケーターの点灯個数: 小数点第 2 位
- 例: バージョン「1.07」を表示しているとき



- [CH 1] チャンネルレベルインジケーターの最上部が点滅するとき、ファームウェアのバージョンが 2.00 以前です。

設定項目一覧

設定項目	[CH 1] チャンネルレベルインジケーターの点滅位置	設定値	初期値	説明
Cross Fader Cut Lag	一番上	0 ~ 52	6	クロスフェーダー両端の遊び (カットラグ) を調整します。0.74 mm ~ 5.94 mm まで 0.1 mm 単位で調整できます。[1]
Cross Fader Curve Slow A	上から 2 番目	0 ~ 32	16	[CROSS F. CURVE (THRU, ㄣ, ㄣ)] スイッチを [ㄣ] に設定しているときの [CH 1] 側の減衰カーブ特性を調整します。[2]
Cross Fader Curve Slow B	上から 3 番目	0 ~ 32	16	[CROSS F. CURVE (THRU, ㄣ, ㄣ)] スイッチを [ㄣ] に設定しているときの [CH 2] 側の減衰カーブ特性を調整します。[2]
Cross Fader Curve Fast A	上から 4 番目	0 ~ 32	32	[CROSS F. CURVE (THRU, ㄣ, ㄣ)] スイッチを [ㄣ] に設定しているときの [CH 1] 側の減衰カーブ特性を調整します。[2]
Cross Fader Curve Fast B	上から 5 番目	0 ~ 32	32	[CROSS F. CURVE (THRU, ㄣ, ㄣ)] スイッチを [ㄣ] に設定しているときの [CH 2] 側の減衰カーブ特性を調整します。[2]
Generic Controller Mode	上から 6 番目	ON / OFF	OFF	エフェクトコントロールボタンを使ってエフェクトを選ぶ機能をオン / オフします。オフのとき、LFO CONTROL 機能および CROSS FADER CONTROL 機能が使えます。
Mic Output To Booth Monitor	上から 7 番目	ON / OFF	ON	[BOOTH] 端子からマイク音声出力する / 出力しないを設定します。
Auto Standby	上から 8 番目	ON / OFF	ON	オートスタンバイ機能をオン / オフします。

[1] 設定値が非常に小さいときは、クロスフェーダーの位置が一番端でも完全に消音されないことがあります。

[2] 設定値が小さいときは減衰が緩やかなカーブ特性になります。設定値が大きいときは減衰が急激なカーブ特性になります。

MIDI アサインマップ

TRAKTOR 2 では、TRAKTOR 2 の機能を MIDI にアサインするための MIDI メッセージを「Note^① + 英語読み音階^②」または「CC^③ + コントロールナンバー」で表しています。

以下の表では、本機のボタンやツマミから出力される MIDI メッセージを、TRAKTOR 2 と同じ表示方法で記載しています。

- ① Note は、ピアノやキーボードなどの鍵盤を押したり離したりするときに用いる MIDI 用語です。
- ② 英語読み音階は、C・D・E・F・G・A・B のアルファベットと半音を示す # を使う音程の表記方法です。
- ③ CC は、コントロールチェンジの省略形です。コントロールチェンジは、音質や音量などさまざまな制御情報を伝えるために使われる MIDI 信号の一種です。
本機では、主にツマミやフェーダーを操作したときに 0 から 127 の値を CC として出力します。一部のボタンを操作したときも CC を出力します。

MIDI アサインマップ

カテゴリー	ボタン / ツマミ	MIDI アサイン (本機→コンピュータ)			MIDI アサイン (コンピュータ→本機)			送受信データ
		SHIFT OFF	SHIFT ON	ADVANCED SHIFT	SHIFT OFF	SHIFT ON	ADVANCED SHIFT	
トランスポートセクション	ロータリーセクター (押す)	Note C-1	Note E4	Note F#8	—	—	—	OFF=0, ON=127
	ロータリーセクター (回す)	CC 000	CC 064	CC 027	—	—	—	右回し: 0 ~ +30 / 左回し: -1 ~ -30
	DECK A LOAD (DUPLICATE) ボタン	Note C#-1	Note F4	Note G8	—	—	—	OFF=0, ON=127
	DECK B LOAD (DUPLICATE) ボタン	Note D-1	Note F#4	Note G#8	—	—	—	OFF=0, ON=127
	DECK A ►/II (REL.) ボタン	Note D#-1	Note G4	Note A8	Note D#-1	Note G4	Note A8	OFF=0, ON=127
	DECK B ►/II (REL.) ボタン	Note E-1	Note G#4	Note A#8	Note E-1	Note G#4	Note A#8	OFF=0, ON=127
	DECK A SYNC (MASTER) ボタン	Note F-1	Note A4	Note B8	Note F-1	Note A4	Note B8	OFF=0, ON=127
	DECK B SYNC (MASTER) ボタン	Note F#-1	Note A#4	Note C9	Note F#-1	Note A#4	Note C9	OFF=0, ON=127
	DECK A FX ASSIGN FX1 ボタン	Note G-1	Note B4	Note C#9	Note G-1	Note B4	Note C#9	OFF=0, ON=127
	DECK B FX ASSIGN FX1 ボタン	Note G#-1	Note C5	Note D9	Note G#-1	Note C5	Note D9	OFF=0, ON=127
	DECK A FX ASSIGN FX2 ボタン	Note A-1	Note C#5	Note D#9	Note A-1	Note C#5	Note D#9	OFF=0, ON=127
	DECK B FX ASSIGN FX2 ボタン	Note A#-1	Note D5	Note E9	Note A#-1	Note D5	Note E9	OFF=0, ON=127
	DECK A CUE (ABS.) ボタン	Note B-1	Note D#5	Note F9	Note B-1	Note D#5	Note F9	OFF=0, ON=127
	DECK B CUE (ABS.) ボタン	Note C0	Note E5	Note F#9	Note C0	Note E5	Note F#9	OFF=0, ON=127
エフェクトセクション	FX1 DRY/WET ツマミ	CC 001	CC 065	CC 028	—	—	—	0 ~ 127
	FX2 DRY/WET ツマミ	CC 002	CC 066	CC 029	—	—	—	0 ~ 127
	FX1 ON (GROUP/SINGLE) ボタン	Note C#0	Note F5	CC 030	Note C#0	Note F5	CC 030	OFF=0, ON=127
	FX2 ON (GROUP/SINGLE) ボタン	Note D0	Note F#5	CC 031	Note D0	Note F#5	CC 031	OFF=0, ON=127
	FX1 EFFECT1 ツマミ	CC 003	CC 067	CC 032	—	—	—	0 ~ 127
	FX2 EFFECT1 ツマミ	CC 004	CC 068	CC 033	—	—	—	0 ~ 127
	FX1 EFFECT1 ボタン	Note D#0	Note G5	CC 034	Note D#0	Note G5	CC 034	OFF=0, ON=127
	FX2 EFFECT1 ボタン	Note E0	Note G#5	CC 035	Note E0	Note G#5	CC 035	OFF=0, ON=127
	FX1 EFFECT2 ツマミ	CC 005	CC 069	CC 036	—	—	—	0 ~ 127
	FX2 EFFECT2 ツマミ	CC 006	CC 070	CC 037	—	—	—	0 ~ 127
	FX1 EFFECT2 ボタン	Note F0	Note A5	CC 038	Note F0	Note A5	CC 038	OFF=0, ON=127
	FX2 EFFECT2 ボタン	Note F#0	Note A#5	CC 039	Note F#0	Note A#5	CC 039	OFF=0, ON=127
	FX1 EFFECT3 ツマミ	CC 007	CC 071	CC 040	—	—	—	0 ~ 127
	FX2 EFFECT3 ツマミ	CC 008	CC 072	CC 041	—	—	—	0 ~ 127
	FX1 EFFECT3 ボタン	Note G0	Note B5	CC 042	Note G0	Note B5	CC 042	OFF=0, ON=127
	FX2 EFFECT3 ボタン	Note G#0	Note C6	CC 043	Note G#0	Note C6	CC 043	OFF=0, ON=127
ミキサーセクション	CH 1 TRIM ツマミ	CC 013	CC 077	CC 089	—	—	—	0 ~ 127
	CH 2 TRIM ツマミ	CC 014	CC 078	CC 090	—	—	—	0 ~ 127
	CH 1 HI ツマミ	CC 015	CC 079	CC 091	—	—	—	0 ~ 127
	CH 2 HI ツマミ	CC 016	CC 080	CC 092	—	—	—	0 ~ 127
	CH 1 MID ツマミ	CC 017	CC 081	CC 093	—	—	—	0 ~ 127
	CH 2 MID ツマミ	CC 018	CC 082	CC 094	—	—	—	0 ~ 127
	CH 1 LOW ツマミ	CC 019	CC 083	CC 095	—	—	—	0 ~ 127
	CH 2 LOW ツマミ	CC 020	CC 084	CC 096	—	—	—	0 ~ 127
	CH 1 CUE (TAP) ボタン	Note B2	Note D#8	Note D4	—	Note D#8	Note D4	OFF=0, ON=127
	CH 2 CUE (TAP) ボタン	Note C3	Note E8	Note D#4	—	Note E8	Note D#4	OFF=0, ON=127
	CH 1 チャンネルフェーダー	CC 021	CC 085	CC 097	—	—	—	0 ~ 127
	CH 2 チャンネルフェーダー	CC 022	CC 086	CC 098	—	—	—	0 ~ 127
	CROSS FADER A	CC 023	CC 087	CC 099	—	—	—	0 ~ 127
	CROSS FADER B	CC 024	CC 088	CC 100	—	—	—	0 ~ 127
グローバルセクション	SNAP (QUANTIZE) ボタン	Note C#3	Note F8	Note G9	Note C#3	Note F8	Note G9	OFF=0, ON=127

カテゴリー	ボタン / ツマミ	セクションの機能	MIDI アサイン (本機→コンピュータ)			MIDI アサイン (コンピュータ→本機)			送受信データ
			SHIFT OFF	SHIFT ON	ADVANCED SHIFT	SHIFT OFF	SHIFT ON	ADVANCED SHIFT	
ホットキュー / サンプラーセクション	DECK A AUTO LOOP (LOOP MOVE/SAMPLE VOLUME) ツマミ (押す)	ホットキュー機能	Note A0	Note C#6	CC 044	—	—	—	OFF=0, ON=127
		サンプラー機能	Note A#0	Note D6	CC 046	—	—	—	
	DECK A AUTO LOOP (LOOP MOVE/SAMPLE VOLUME) ツマミ (回す)	ホットキュー機能	CC 009	CC 073	CC 045	—	—	—	右回し : 0 ~ + 30 / 左回し : - 1 ~ - 30
		サンプラー機能	CC 010	CC 074	CC 025	—	—	—	
	DECK B AUTO LOOP (LOOP MOVE/SAMPLE VOLUME) ツマミ (押す)	ホットキュー機能	Note B0	Note D#6	CC 047	—	—	—	OFF=0, ON=127
		サンプラー機能	Note C1	Note E6	CC 049	—	—	—	
	DECK B AUTO LOOP (LOOP MOVE/SAMPLE VOLUME) ツマミ (回す)	ホットキュー機能	CC 011	CC 075	CC 048	—	—	—	右回し : 0 ~ + 30 / 左回し : - 1 ~ - 30
		サンプラー機能	CC 012	CC 076	CC 026	—	—	—	
	DECK A SELECT ボタン	—	Note C#1	Note F6	CC 050	—	—	—	OFF=0, ON=127
	DECK B SELECT ボタン	—	Note D1	Note F#6	CC 051	—	—	—	OFF=0, ON=127
	DECK A HOT CUE1 ボタン	ホットキュー機能	Note D#1	Note G6	CC 052	Note D#1	Note G6	CC 052	OFF=0, ON=127
		サンプラー機能	Note E1	Note G#6	Note D3	Note E1	Note G#6	Note D3	OFF=0, ON=127
	DECK B HOT CUE1 ボタン	ホットキュー機能	Note F1	Note A6	CC 053	Note F1	Note A6	CC 053	OFF=0, ON=127
		サンプラー機能	Note F#1	Note A#6	Note D#3	Note F#1	Note A#6	Note D#3	OFF=0, ON=127
	DECK A HOT CUE2 ボタン	ホットキュー機能	Note G1	Note B6	CC 054	Note G1	Note B6	CC 054	OFF=0, ON=127
		サンプラー機能	Note G#1	Note C7	Note E3	Note G#1	Note C7	Note E3	OFF=0, ON=127
	DECK B HOT CUE2 ボタン	ホットキュー機能	Note A1	Note C#7	CC 055	Note A1	Note C#7	CC 055	OFF=0, ON=127
		サンプラー機能	Note A#1	Note D7	Note F3	Note A#1	Note D7	Note F3	OFF=0, ON=127
	DECK A HOT CUE3 ボタン	ホットキュー機能	Note B1	Note D#7	CC 056	Note B1	Note D#7	CC 056	OFF=0, ON=127
		サンプラー機能	Note C2	Note E7	Note F#3	Note C2	Note E7	Note F#3	OFF=0, ON=127
	DECK B HOT CUE3 ボタン	ホットキュー機能	Note C#2	Note F7	CC 057	Note C#2	Note F7	CC 057	OFF=0, ON=127
		サンプラー機能	Note D2	Note F#7	Note G3	Note D2	Note F#7	Note G3	OFF=0, ON=127
	DECK A HOT CUE4 ボタン	ホットキュー機能	Note D#2	Note G7	CC 058	Note D#2	Note G7	CC 058	OFF=0, ON=127
		サンプラー機能	Note E2	Note G#7	Note G#3	Note E2	Note G#7	Note G#3	OFF=0, ON=127
	DECK B HOT CUE4 ボタン	ホットキュー機能	Note F2	Note A7	CC 059	Note F2	Note A7	CC 059	OFF=0, ON=127
		サンプラー機能	Note F#2	Note A#7	Note A3	Note F#2	Note A#7	Note A3	OFF=0, ON=127
	DECK A ACTIVE ボタン	ホットキュー機能	Note G2	Note B7	Note A#3	Note G2	Note B7	Note A#3	OFF=0, ON=127
		サンプラー機能	Note G#2	Note C8	Note B3	Note G#2	Note C8	Note B3	OFF=0, ON=127
	DECK B ACTIVE ボタン	ホットキュー機能	Note A2	Note C#8	Note C4	Note A2	Note C#8	Note C4	OFF=0, ON=127
		サンプラー機能	Note A#2	Note D8	Note C#4	Note A#2	Note D8	Note C#4	OFF=0, ON=127

その他

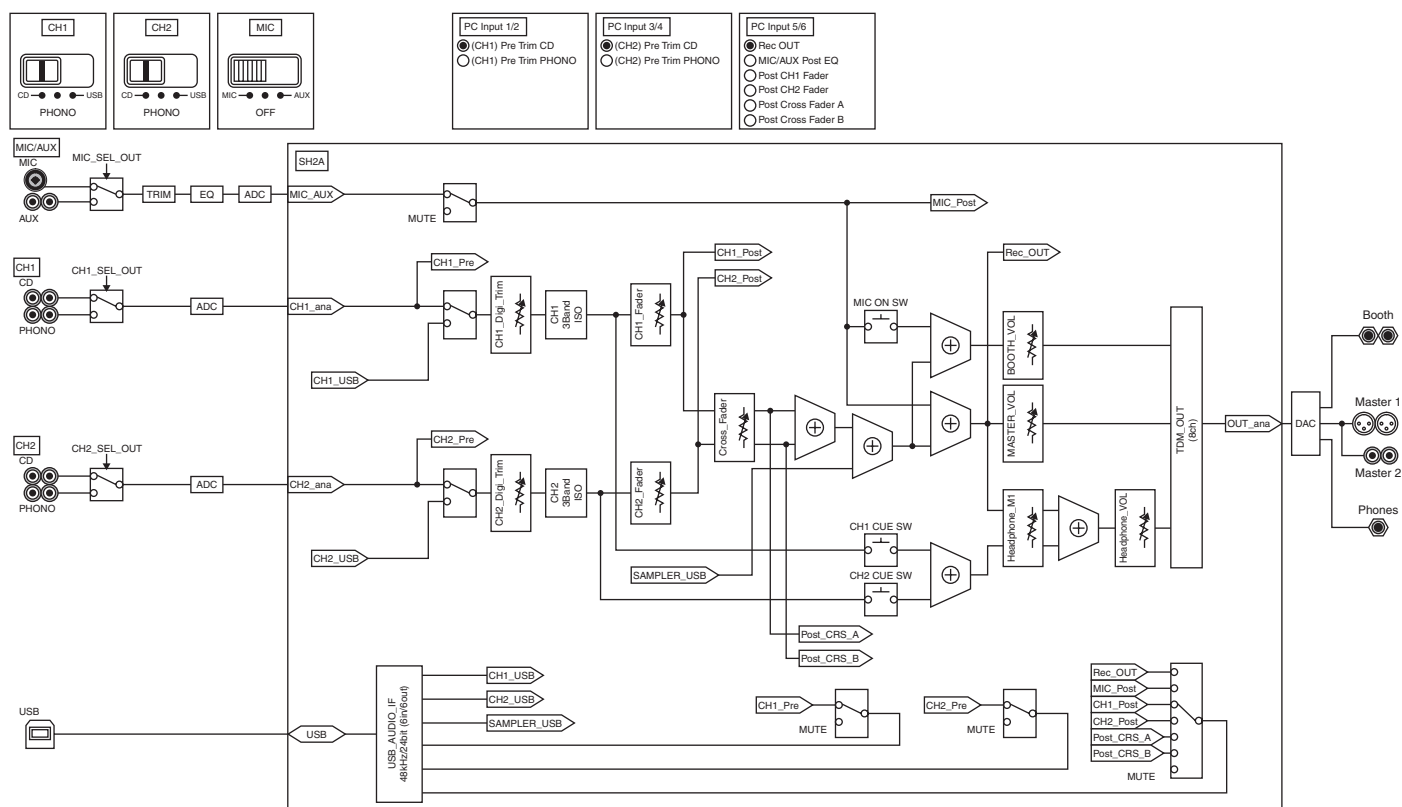
故障かな？と思ったら

- 故障かな？と思ったら、下記の項目を確認してください。また、本機と接続している機器もあわせて確認してください。それでも正常に動作しないときは、32ページの「保証とアフターサービス」をお読みのうえ、販売店にお問い合わせください。
- 静電気など、外部からの影響により本機が正常に動作しないことがあります。このようなときは、電源をオフにしてから 1 分後に再度電源をオンにすることで正常に動作することがあります。

こんなときは	ここを確認してください	対応の仕方
電源が入らない。	電源コードが正しく接続されていますか？	電源コードをコンセントへ接続してください。
本機が認識されない。	電源の [ON/OFF] スイッチは [ON] になっていますか？	電源の [ON/OFF] スイッチを [ON] にしてください。
	付属の USB ケーブルが正しく接続されていますか？	付属の USB ケーブルを正しく接続してください。(11ページ)
	TRAKTOR 2 の [CTRL] は点灯していますか？	本機のミキサーセクション以外のボタンのいずれかを押し、TRAKTOR 2 の [CTRL] が点灯することを確認してください。
	—	[Preferences] > [Controller Manager] > [Device Setup] > [Device] で [Pioneer. DJM-T1] を選んでいるか確認してください。(25ページ)
音楽ファイルを再生できない。	音楽ファイルが壊れていませんか？	壊れていない音楽ファイルを再生してください。
[TRACK] エリアにトラックが表示されない。	音楽ファイルが正しくインポートされていますか？	音楽ファイルをインポートしてください。(14ページ)
	トラックが入っていない [Playlists] または [FAVORITES] を選んでいませんか？	トラックが入っている [Playlists] または [FAVORITES] を選んでください。
[AUX IN] 端子に接続した機器の音量が小さい。	フロントパネルの [LEVEL] ツマミの位置が正しく設定されていますか？	接続する機器に合わせてフロントパネルの [LEVEL] ツマミを調整してください。(23ページ)
音が歪む。	TRAKTOR 2 の [MAIN VOL] ツマミ、 [GAIN] ツマミが正しい位置に設定されていますか？	TRAKTOR 2 の [MAIN] レベルインジケータを見て、 [MAIN VOL] ツマミ、 [GAIN] ツマミを調整してください。
	[AUX IN] 端子、 [MIC] 端子に入力される音声レベルは適切に設定されていますか？	接続する機器に合わせて各端子に入力される音声レベルを適切に設定してください。
	[MASTER] チャンネルから出力されている音声レベルは適切に設定されていますか？	マスターチャンネルレベルインジケータの [0 dB] 付近がピークレベルで点灯するように [MASTER LEVEL] ツマミを調整してください。(17ページ)
	各チャンネルに入力されている音声レベルは適切に設定されていますか？	[MASTER LEVEL] ツマミを調整しても音が歪むときは、 [MASTER ATT.] を [-6 dB] に設定してください。(11ページ)
再生中の音声がとぎれる。	付属の電源コード、付属の USB ケーブルが正しく接続されていますか？	チャンネルレベルインジケータの [0 dB] 付近がピークレベルで点灯するように [TRIM] ツマミを調整してください。(17ページ)
	オーディオレイテンシーの値は適切ですか？	再生中に付属の電源コード、付属の USB ケーブルが本体から抜けると音声がとぎれます。(11ページ) 付属の USB ケーブルを、本体のコードフックに正しく固定してください。(11ページ)
	—	Windows をお使いのときは、設定ユーティリティの [ASIO] タブを開いてオーディオレイテンシーの値を適切に設定してください。(26ページ) Macintosh をお使いのときは、TRAKTOR 2 の [Preferences] > [Audio Setup] > [Latency] の値を適切に設定してください。
外部機器またはマイクの音声を出力できない。	フロントパネルの [INPUT SELECT] スイッチが [OFF] の位置に設定されていませんか？	[INPUT SELECT] スイッチを、外部機器を使うときは [AUX] の位置に、マイクを使うときは [MIC] の位置に設定してください。(23ページ)
音が出ない。	接続ケーブルが正しく接続されていますか？	接続ケーブルを正しく接続してください。(11ページ)
	付属の USB ケーブルが正しく接続されていますか？	コンピュータと本機を付属の USB ケーブルで直接接続してください。USB ハブは使えません。(11ページ)
	端子やプラグが汚れていませんか？	端子やプラグの汚れを拭き取ってから接続してください。
	[UTILITY (WAKE UP)] ボタンのインジケータが 4 秒間隔で点滅していますか？	コンピュータにドライバソフトウェアを正しくインストールしてください。(10ページ)
	TRAKTOR 2 の [Audio Setup] 、 [Output Routing] 、および [Input Routing] は正しく設定されていますか？	[Preferences] が以下のように設定されているか確認してください。(25ページ) [Audio Setup] > [Audio Device] > [PIONEER DJM-T1 (Core Audio)] (Mac OS X) または [PIONEER DJM-T1 ASIO (ASIO)] (Windows) [Output Routing] > [Output Deck A] [L] > [1.PIONEER DJM-T1 OUT 1] および [R] > [2.PIONEER DJM-T1 OUT 2] [Output Routing] > [Output Deck B] [L] > [3.PIONEER DJM-T1 OUT 3] および [R] > [4.PIONEER DJM-T1 OUT 4] [Input Routing] > [Input Deck A] [L(Mono)] > [1.PIONEER DJM-T1 IN 1] および [R] > [2.PIONEER DJM-T1 IN 2] [Input Routing] > [Input Deck B] [L(Mono)] > [3.PIONEER DJM-T1 IN 3] および [R] > [4.PIONEER DJM-T1 IN 4] Mac OS X をお使いのときは、上記の [X.PIONEER DJM-T1 OUT] および [X.PIONEER DJM-T1 IN] に続く番号を [0] から [3] に置き換えて設定してください。
音が出ない、または音が小さい。	接続しているコンボやアンプは正しく設定されていますか？	コンボやアンプの外部入力の切り換えや音量を正しく設定してください。
	[CD, PHONO, USB] 入力切換スイッチの位置が正しく設定されていますか？	[CD, PHONO, USB] 入力切換スイッチを切り換えてチャンネルの入力ソースを切り換えてください。(17ページ)
	[MASTER ATT.] が [-6 dB] に設定されていませんか？	[MASTER ATT.] を [0 dB] に設定してください。(11ページ)
BPM または波形全体が表示されない。	音楽ファイルが解析されていますか？	[Preferences] > [File Management] > [Analyze new tracks when loading into deck] にチェックを入れ、再度トラックをデッキにロードしてください。
[SYNC] 機能が働かない。	音楽ファイルが正しくインポートされていますか？	音楽ファイルをインポートし直し、デッキにロードしてください。(14ページ)
	音楽ファイルが解析されていますか？	音楽ファイルを自動で解析できないときは、 [Beat Grid] を手動で入力してください。
曲を解析しても [SYNC] が働かない。	ホットキューに [BEAT MARKER (Grid)] が設定されていますか？	最低 1 つの [BEAT MARKER] を [Grid] に設定してください。
	—	[Preferences] > [File Management] > [Set Beat-Grid when detecting BPM] にチェックを入れ、再度トラックをデッキにロードしてください。
デッキエリアの表示が小さい。	—	デッキエリアのトラック情報表示部 (曲名や BPM などが表示されている部分) をダブルクリックしてください。

こんなときは	ここを確認してください	対応の仕方
[SINGLE/GROUP] 切換ボタンが効かない。 —		TRAKTOR SCRATCH DUO 2 では [Single] モードは選べません。 TRAKTOR SCRATCH PRO 2 にアップグレードすると、エフェクトパネルを [Single] モードに切り換えられます。
バックキュー機能が働かない。	キューポイントが設定されていますか？	キューポイントを設定してください。(15ページ)
MIDI コントロールできない。	MIDI チャンネルが正しく設定されていますか？	設定ユーティリティの [MIDI] タブから、MIDI チャンネルを設定してください。(26ページ)
	MIDI 設定が正しく設定されていますか？	本機で DJ ソフトウェアを操作するときは、本機の MIDI メッセージをお使いの DJ ソフトウェアにアサインする必要があります。アサイン方法については、お使いの DJ ソフトウェアの取扱説明書をご覧ください。
コンピュータに接続しても本機が認識されない。	[UTILITY (WAKE UP)] ボタンのインジケーターが 4 秒間隔で点滅していますか？	ドライバソフトウェアをインストールしてください。インストール済みのときは、アンインストールしてから再度インストールし直してください。(10ページ)
コンピュータの音声が本機から出力されない。	本機とコンピュータが正しく接続されていますか？	USB ケーブルを使って本機とコンピュータを接続してください。(11ページ)
	音声出力デバイス設定が正しく設定されていますか？	音声出力デバイス設定で本機を選んでください。お使いのアプリケーションの設定方法については、お使いのアプリケーションの取扱説明書をご覧ください。
	[CD, PHONO, USB] 入力切換スイッチの位置が正しく設定されていますか？	[CD, PHONO, USB] 入力切換スイッチを [USB] の位置に設定してください。(12ページ)(17ページ)
アナログプレーヤーを本機の [PHONO] 端子に接続すると音が歪む。 また、[TRIM] ツマミを回してもチャンネルレベルインジケーターの点灯が変わらない。	フォノイコライザー内蔵のアナログプレーヤーを接続していませんか？	フォノイコライザー内蔵のアナログプレーヤーは [CD] 端子に接続してください。(11ページ) フォノイコライザー内蔵のアナログプレーヤーに PHONO/LINE 切換スイッチがあるときは、PHONO に切り換えてください。
	アナログプレーヤーと本機の間にコンピュータ用のオーディオインターフェースが接続されていませんか？	コンピュータ用のオーディオインターフェースの出力がラインレベルのときは、[CD] 端子に接続してください。(11ページ) アナログプレーヤーに PHONO/LINE 切換スイッチがあるときは、PHONO に切り換えてください。

ブロックダイアグラム



保証とアフターサービス

修理に関するご質問、ご相談

裏表紙に記載の修理受付窓口、またはお買い求めの販売店にご相談ください。
CONTROL CD や CONTROL VINYL が消耗または破損するなどして新たにご購入いただくときは、TRAKTOR SCRATCH の取扱店または Native Instruments 社などのオンラインショップをご利用ください (<http://www.native-instruments.com/>)。
なお、これらの部品は消耗部品につき、保証期間内でも保証対象外となります。

保証書（別添）

保証書は必ず「販売店名・購入日」などの記入を確かめて販売店から受け取り、内容をよく読んで大切に保管してください。

保証期間は購入日から 1 年間です。

補修用性能部品の最低保有期間

当社はこの製品の補修用性能部品を製造打ち切り後、8 年間保有しています。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼されるとき

本書の 30 ページの「故障かな? と思ったら」をお読みいただき、故障かどうかご確認ください。それでも正常に動作しないときには、必ず電源プラグを抜いてから、次の要領で修理を依頼してください。

連絡していただきたい内容

- ・ ご住所
 - ・ お名前
 - ・ お電話番号
 - ・ 製品名：DJ ミキサー
 - ・ 型番：DJM-T1
 - ・ お買い上げ日
 - ・ 故障または異常の内容
- 「いつ、どのくらいの頻度で、どのような操作で、どうなる」といった詳細

保証期間中は

修理に際しましては、保証書をご提示ください。保証書に記載されている弊社保証規定に基づき修理いたします。

保証期間を過ぎているときは

修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理いたします。

商標および登録商標について

- ・ Pioneer はパイオニア株式会社の登録商標です。
 - ・ Microsoft®、Windows Vista®, Windows®, Internet Explorer® は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
 - ・ Apple、Macintosh、Mac OS、Safari、iTunes、および Finder は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。
 - ・ Intel および Pentium は、米国およびその他の国における Intel Corporation の商標です。
 - ・ ASIO は Steinberg Media Technologies GmbH の商標です。
 - ・ TRAKTOR は Native Instruments 社の登録商標です。
 - ・ AMD Athlon は、Advanced Micro Devices, Inc. の商標です。
- その他記載されている会社名および製品名等は、各社の登録商標または商標です。

本製品は非営利的使用のためのみにライセンスされております。営利的目的での(収益の発生するような)、実際の放送(地上波放送・衛星放送・有線放送・あるいは他のメディアを利用した放送)、インターネットやイントラネット(企業内ネット)あるいは他のネットワークを利用した放送・ストリーミング、またその他の電子的情報を提供するシステム(音楽の有料配信など)のためにはライセンスされておりません。このような使用には個別にライセンスを取得する必要があります。詳しくは <http://www.mp3licensing.com> をご参照ください。

著作権についてのご注意

- あなたが録音したものは、個人として楽しむなどの他は、著作権法上、権利者に無断で使用できません。
- ・ CD などから録音される音楽は、各国の著作権法ならびに国際条約で保護されています。また、録音した者自身が、それを合法的に使用する上でのすべての責任を負います。
 - ・ インターネットなどからダウンロードされる音楽を取り扱う際は、ダウンロードした者自身が、ダウンロードサイトとの契約に則ってそれを使用する上でのすべての責任を負います。

仕様

一般

電源	AC 100 V、50 Hz/60 Hz
消費電力	23 W
待機時消費電力(スタンバイ状態)	0.4 W
本体質量	6.1 kg
最大外形寸法	265 mm (幅) × 107.9 mm (高さ) × 403 mm (奥行)
許容動作温度	+ 5 °C ~ + 35 °C
許容動作湿度	5 % ~ 85 % (結露のないこと)

オーディオ部

サンプリングレート	48 kHz
A/D、D/A コンバーター	24 bits
周波数特性	

CD	20 Hz ~ 20 kHz
S/N 比(定格出力時)	

PHONO	92 dB
CD	106 dB
MIC	84 dB

全高調波歪率(CD — MASTER1)	0.004 %
基準入力レベル / 入力インピーダンス	

PHONO	— 52 dBu/47 kΩ
CD	— 12 dBu/47 kΩ
MIC	— 52 dBu/47 kΩ
AUX	— 12 dBu/29 kΩ

基準出力レベル / 負荷インピーダンス / 出力インピーダンス	
MASTER1	+ 6 dBu/10 kΩ/10 Ω 以下
MASTER2	+ 2 dBu/10 kΩ/330 Ω
BOOTH	+ 6 dBu/10 kΩ/10 Ω 以下
PHONES	+ 5.4 dBu/32 Ω/10 Ω 以下

定格出力レベル / 負荷インピーダンス	
MASTER1	+ 24 dBu/10 kΩ
MASTER2	+ 20 dBu/10 kΩ

クロストーク(CD)	86 dB
チャンネルイコライザー特性	

HI	— ∞ ~ + 6 dB (13 kHz)
MID	— ∞ ~ + 6 dB (1 kHz)
LOW	— ∞ ~ + 6 dB (70 Hz)

マイクイコライザー特性	
HI	— 12 dB ~ + 12 dB (10 kHz)
LOW	— 12 dB ~ + 12 dB (100 Hz)

入力 / 出力端子

PHONO 入力端子	
RCA ピンジャック	2 系統

CD 入力端子	
RCA ピンジャック	2 系統

MIC 入力端子	
XLR コネクター / フォーンジャック (Ø 6.3 mm)	1 系統

AUX 入力端子	
RCA ピンジャック	1 系統

MASTER 出力端子	
XLR コネクター	1 系統
RCA ピンジャック	1 系統

BOOTH 出力端子	
TRS フォーンジャック (Ø 6.3 mm)	1 系統

PHONES 出力端子	
ステレオフォーンジャック (Ø 6.3 mm)	1 系統

USB 端子	
B タイプ	1 系統

- ・ 本機の仕様および外観は改良のため予告なく変更することがあります。
- ・ 本書に記載されているソフトウェア画面は開発中のものです。実際の画面と異なることがあります。
- ・ [MASTER1] 端子は必ずバランス出力としてお使いください。XLR-RCA 変換ケーブル(変換アダプタ)などを使って、アンバランス入力(RCA 等)へ接続すると、音質が悪くなったり、ノイズが発生する場合があります。アンバランス入力(RCA 等)への接続には [MASTER2] 端子をお使いください。

<各窓口へのお問い合わせの時のご注意>

「0120」で始まる  フリーコールおよび  フリーコールは、携帯電話・PHS・一部のI P電話などからは、ご使用になれません。
また、【一般電話】は、携帯電話・PHS・I P電話などからご利用可能ですが、通話料がかかります。
正確なご相談対応のために折り返しお電話をさせていただくことがございますので発信者番号の通知にご協力いただきますようお願いいたします。

ご相談窓口のご案内

※番号をよくお確かめの上でおかけいただきますようお願いいたします

パイオニア商品の修理・お取り扱い（取り付け・組み合わせなど）については、お買い求めの販売店様へお問い合わせください。

商品についてのご相談窓口

- 商品のご購入や取り扱い、故障かどうかのご相談窓口およびカタログのご請求について

カスタマーサポートセンター（全国共通フリーコール）

受付時間 月曜～金曜9:30～18:00、土曜9:30～12:00、13:00～17:00（日曜・祝日・弊社休業日は除く）

■家庭用オーディオ/ビジュアル商品  0120-944-222 一般電話 044-572-8102

■ファックス 044-572-8103

■インターネットホームページ <http://pioneer.jp/support/>

※商品についてよくあるお問い合わせ・メールマガジン登録のご案内・お客様登録など

修理窓口のご案内

※番号をよくお確かめの上でおかけいただきますようお願いいたします

修理をご依頼される場合は、取扱説明書の『故障かな？と思ったら』を一度ご覧になり、故障かどうかご確認ください。それでも正常に動作しない場合は、①型名②ご購入日③故障症状を具体的に、ご連絡ください。

修理についてのご相談窓口

- お買い求めの販売店に修理の依頼が出来ない場合

修理受付窓口

受付時間 月曜～金曜9:30～18:00、土曜9:30～12:00、13:00～17:00（日曜・祝日・弊社休業日は除く）

■電話  0120-^{ユニバーシア}5-81028 一般電話 044-572-8100

■ファックス  0120-5-81029

■インターネットホームページ <http://pioneer.jp/support/repair/>

※家庭用オーディオ/ビジュアル商品はインターネットによる修理のお申し込みを受付けております

沖縄サービス認定店（沖縄県のみ）

受付時間 月曜～金曜9:30～18:00（土曜・日曜・祝日・弊社休業日は除く）

■一般電話 098-987-1120

■ファックス 098-987-1121

部品のご購入についてのご相談窓口

- 部品（付属品、リモコン、取扱説明書など）のご購入について

部品受注センター

受付時間 月曜～金曜9:30～18:00、土曜9:30～12:00、13:00～17:00（日曜・祝日・弊社休業日は除く）

■電話  0120-5-81095 一般電話 044-572-8107

■ファックス  0120-5-81096

平成23年7月現在 記載内容は、予告なく変更させていただくことがありますので予めご了承ください。

VOL.045

© 2011 パイオニア株式会社 禁無断転載

パイオニア株式会社

〒212-0031 神奈川県川崎市幸区新小倉1番1号

<DRA1465-A>

